



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1 / 3

原爆先生、この前は原爆についてお話して下さり、ありがとうございました。先生のお話で戦争についての考えが変わりました。その考えについて意見文をかきました。ぜひ読んで下さい。私は、原爆先生の話聞いて、戦争は、二度おこしてはいけないもの。たと思った。なぜなら、戦争によって人がどんどん死んでしまうし、その本人だて、家族だて、友達だて、とても悲しくなるからだ。そして、原爆をうけると、とても熱くて、痛くて、苦しくなってしまうから、戦争を、二度とおこしてはいけない。そう思った。

先生の話によると、原子爆弾が投下されたのは、1945年8月6日、上空600m、表面温度7000℃、中心温度100万℃の状態爆発したそうだ。ちなみに太陽の温度は6000℃、太陽より熱いものが上空600mにあつたなんて、とても信じられない。また、地上の温度は3000℃にも至った。これは、鉄の溶ける温度の2倍にあたる。ということ想像すると、体やもの、何もかもがとけ、心も体も苦しか、たん



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2 / 3

だ。と思う。そして、その原爆で亡くなった方の家族、友達、親せきも悲しんだんだ。そう考えると、やはり戦争なんてなくていいと思う。

戦争は絶対におこさない、と考えたもう一つの理由として、『戦争と幻のオリンピック』という番組を思いだした。この番組では、昔のオリンピックと戦争との関係、現代の選手の考えなどが語られている。この番組の一部に、「スポーツは戦争に利用されていた」という言葉があった。スポーツは、兵隊の戦力を上げるため、しょう害物競争などという形で使われた。しかも、じゅうを背負いながら、私は、その言葉におどろいた。戦争のためにみんなが楽しむスポーツを使ったからだ。また、じゅうを背負ってなど考えられない。私は、そのスポーツを見ている人、作った人は、「こんな使い方はしないほうがいい」と思ったのでは？と考える。もし他の人がそう思わなくても、私はこう思う。

私は、このような事実から、戦争はもうおこしてはいけない、と考えた。戦争や爆弾によって苦しむ人が



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

3/3

たくさんでてきてしまう。大好きな人がいなくな
たり、スポーツが利用されることは、平和ではない
と思う。だから自分でも、オリンピック、パラリンピック
を応援したり、平和をうたえたり、世界が平和で
あるためにできることを探し、役に立てればいい
と考える。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/1

池田先生、原爆についてお話を聞かせていただきありがとうございます。先生のお話を聞いて、「平和」について考えた意見文を書きました。ぜひよんでみてください。

みなさんは、「平和」とはどのようなことか、考えたことはありますか。

私が「平和」について考えたとき、平和とは、人の手で人が傷つけられることだと思えます。私は、これから平和であるためには、「人の手で人が傷つけられないこと」が大切だと思えます。

「原爆先生」である池田先生から聞いた話によると、1945年8月6日、

広島に世界で初めての原子爆弾が投下されました。私は、これを知った時、人が作られた物に傷つけられて「何になるのだろう」と思いました。人と人が傷つけあう。と言えば、最近京都府二条地区で火事がおきました。あの事件も、人と人が傷つけられると同じです。人が油をまき、人が火をつけ、燃え、たごとの中にいる人たちは、みんな苦しみました。原爆も同じです。燃え、人が苦しみます。私は、同じ人間が作られた物で同じ人間が苦しむことは、いけないと思えます。そして、私も、私たちが、人が作られた物で、人を傷つけないようにするには、人がわかりあうことが大切だと思えます。さうとわかりあうことが、戦争などがおきると考えました。なので、わかりあうことが大切だ。自分の気持ちを主張するのは、さういう考えも、あっています。と思えます。……と思えます。まずは、つながりからなして、さう思っています。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/2

池田先生、原爆についてお話を聞かせていただきありがとうございます。先生のお話を聞いて、「平和」について考えた意見文をかきました。ぜひ言売んでください。

みなさんは「平和」について考えたことがありますか。ぼくが「平和」について考えたときに、世界中の人々が争わない世界が思い浮かびました。ぼくはこれから平和であるために「全ての人々が争わないために定められたルールを守る」ことが大切だと思いました。

「原爆先生」である池田先生の話しは、丸四五年、広島島に世界で初めての原子爆弾が投下されたときの話しです。一瞬でたくさんの人々の命が奪われたそうです。ぼくは、なんの罪もない人々の命が奪われるのはおかしいと思いました。なので争いによって命が奪われるので、戦争はやはりよくないと思います。ただこれと、も以前見た「戦争の凶器のオリピック」という番組では自分たちの好きなスポーツを戦争によって奪われていました。サッカー選手や水泳選手はオリンピックではなく戦場にいかされて



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

2/2

名前は裏面に記入してください

とても衝撃をうけました。今はスポーツができてい
るけれど、あたりまえじゃないことをこの番組で知り、戦争は
「改めたいいけない」と思いました。このように争い戦争にな
らないとほしくないのです。なので世界中の人々が争
わず助けあいたいすればこの世界に戦争がなくなると思
います。だからほくは争いのない世界になってほしい
です。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

1/2

池田先生、原爆についてお話を聞かせていただきありがとうございました。先生のお話を聞いて、「平和」についての意見文を書きました。読んでくださると嬉しいです。

みなさんは「平和」とは、どういうものだと思いますか。私は「平和」とは、差別のない世界だと思います。「誰もが平等な権利を持っていて、全ての人々が好きなことをできる世界」が、私は平和だと考えました。

私は「原爆先生」である池田先生から、1945年に落とされた原子爆弾について、聞きました。当時、池田先生の父である義造さんは、十七才で徴兵されて、物資調達の際に原爆に遭いました。義造さんは、広島の人々の無残な姿を見て、とても悲しんだそうです。ですが、もし義造さんが徴兵されていなかったらどうでしょうか。そしたら、義造さんが原爆に遭うこともなかったし、人々を見て悲しむこともなかったはずで、義造さんも、徴兵を決めた政府の人々も、同じ人間で平等な権利があります。義造さんのように、誰かに決められるのではなく、自分で選択できる社会になってほしいと思います。

しかし、差別がなくなっても、世界が平和になることは難



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/2

しいと考える人も多いでしょう。確かにそうです。差別がなくなっても核兵器がなくなるわけでもないし、戦争が終わるわけでもないです。ですが、実は宗教上の問題で戦争になった国や、人種の違いでテロになった国があります。もし差別がなかったら、戦争が起きたり、テロが起こったりすることもなかったと思います。なので、差別がなくなることが平和につながると考えました。

このことから、私は『誰もが平等な権利を揃えて、全ての人々が好きなことをできる世界』が平和につながると考えました。宗教や性別、肌の色などで自由にやりたいことができない人が世界にはたくさんいます。そんな人達が、人との違いに左右されず、自由に暮らせる社会であってほしいです。そして、私も身の回りにいる外国人に対して、自分との違いで差別するのではなく、言語、肌の色なども受け入れて交流ができるようにしたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

1/3

池田先生、原爆じゅこうについてお話を聞かせていただきありがとうございます。先生のお話を聞いて、「平和」について考えた意見文を書きました。ぜひ読んでください。

みなさんは、「平和」について考えたことがあるだろうか。ぼくが平和と考えたときに、あらそいがないのをつけていき、戦争などがおこらないようにしていくことをぼくは思い浮かべた。だからこそ、平和であるために、『誰もか、仲よく、協力しあい、平和であること』が大それたと思う。

原爆先生である池田先生によると、1945年8月6日、広島に世界で初めての原子爆弾がおとされた。原爆ドーム(広島県産業奨励館)に投下され、多くの人が一瞬でなくなり、一瞬で多くの人の未来をうばった。多くの人がなくなりたすかっても火傷だったそうだ。ぼくは、このことをきいて、多くの人の命、未来をうばうなんてひどいとおもった。もうこんな



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/3

とがおそろないようにみんなが大切である世界にしたいと思った。

やりたいことに取り組み始めることを考えたときに、以前見た「戦争と夏のオリンピック」という番組を思い出した。この番組では、サッカー選手がオリンピックを許されず国から単独で行くことが言われていた。戦争で国から締められ自分のいしてはいけなかった。戦争でサッカーがすきたのにせいでスポーツでできなくなってしまった。国は、ヒト・モノ・カネを戦争についやした。ぼくはこのことを見て、思った。

戦争でスポーツ(サッカー)がきせいされていてサッカーの未来がなくなってしまった。

国にいわれて、きょうせいされて戦争にかされてかわいそうと思った。あんなにきがないのをつづけていくには、みんなが自分じしんできめられるのがいいと思った。

戦争や争いがなくないのを糸売けていくこと。ぼくは、この状態が糸売くことが平和につながる



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/13

がると考える。ぼくは今、みんなが争わない
ようにつねにみんなに優しい気持ちをお忘れ
ず、一生けん命取り組みたいです。そして、みんな
がケンカをしてもすぐに仲直りができる
ようにてつだっていきたいと思う。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/2

池田先生に原爆についてお話を聞かせていただきました。先生のお話を聞いて、「平和」について考えた意見文を書きました。ぜひ読んでください。

みなさんは「平和」について考えたことがあるだろうか。ぼくが「平和」について考えたときに、「やりたいことができる時代になった」と思い浮かんだ。ぼくは「国に言われたことをやらなければいけないことをなくすために、「やりたいことができること、戦争のない世界で暮らすこと」が大切だと考える。

「原爆先生」である池田先生の話は、1945年8月6日、広島に世界で初めての原子爆弾が投下された話だ。4km手前で落とされ、300kmの速さで落ちてきた。4km後、600m上空で爆発した。原子爆弾が落とされたことで、死者は14万人だった。原爆で、14万人の命を落としてしまうのは悲しいと思った。4km手前で落とされても気



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/12

づかないと思った。

やりたいことに取り組めることを考えたときに、以前見た「戦争と夏のオリンピック」という番組を思い出した。この番組では、サッカーの日本代表選手が、オリンピックに行けず、戦争に行くということが語られていた。好きなスポーツをやりたいくても、陸軍に入、て戦うことに衝撃を受けた。今の自分は、好きなスポーツができるし、やりたいこともできる。でも、国に言われて陸軍に入、て人を殺さなければいけないのは、悲しいと思った。

誰もが、国から強制されず、やりたいことが「できる」こと。戦争のためにヒト・モノ・カネを集中して集めないこと。ぼくは、この状態が続くことが、平和につながると思う。ぼくは今、自分が好きなスポーツができていることを覚えておき、一生けん命取り組みたい。そして、やりたいことがあるのに、陸軍に入、て戦う時代は来ないでほしいと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

名前は裏面に記入してください

池田先生、原爆について話をしてくれて
ありがとうございます。

先生の話を聞いて、「戦争について考えた意見
文を書きました。

ぼくは、国と国がたがよくできれば「戦争」に
たがう人はいないのかと、思います。

理由、国と国がたがよくできれば、世人もうす
くなく、スポーツがたのしくできると、思うか
です。

国と国がたがよくできたら、たがから世人
うがまき、人がたぐさ人しんてしまいました。

広島おこしから35万人だ、たのに14万人のよが死
人てしま、たというこを話を聞いてりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/1

池田先生、原爆のお話聞かせていただき
ありがとうございます。平和についての意見文を
今回書きました。ぜひ読んでみてください。

みなさんは、「平和について考えた事は
ありますか。私は『戦争がない事がつづくと
が平和だ』と思います。

「原爆先生」の話では、原子爆弾によって
多くの人の命がうばわれたそうです。その話で、
私自身も「死ぬの何が辛いのか」と思いました。

また私は「平和のとりに築く」を読んで、
原爆ドームがユネスコ世界遺産にとりこまれた
ことを知りました。そこで私は、みんなも平和を
おがんでいるんだなと思いました。

これらの事によって、私は平和とは戦争が
ない事がつづくといいなと思いました。でも、また戦争や
る戦争がつづくと国があるので、世界がすべて平和では
ないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

1 / 2

池田先生、原爆についてお話を聞かせていただきありがとうございました。先生のお話を聞いて、「平和」についての意見文を書きました。短いですがぜひ読んでくれるとうれしいです。

みなさんは「平和」について考えたことはありますか。私は、「国と国どうしかけんかをして武力や戦争で解決しない」ということが平和だと考えました。平和のために、原爆などの武器で戦争をしない世界であってほしいと思いました。

「原爆先生」である池田先生の話は、1945年8月6日午前8時15分広島に原爆が投下された時の話でした。原爆によって14万人という多くの命がなくなりました。生き残っている人も火傷や3000度という暑さに苦しんだそうです。国が戦争を起こして解決を



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/2

しようとしたせいで広島の人たちは一瞬で命をうばわれてしまいかわいそうだと思います。

平和と考えたときに日本がサンフランシスコ平和条約を結んだのを思い出しました。この平和条約は、中国、ソ連(ロシア)以外48か国と戦争を終結させるという条約です。私は、この平和条約を結んで良かったなと思いました。でも、原爆が投下される前までになせ結ばなかったらうと不思議にも思いました。

国と国どうしがけんかをして、武力や戦争で解決しないことが平和だと考えます。私は今、戦争のない平和な時代に生きていることを忘れずにこれからもできることをやりたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

1/2

原爆のことや知識を教えてくださいありがとうございます
ございました。原爆先生の話を聞いてぼくは
平和についての意見文を書きました。

みなさんは平和はどのようなことだと思いますか。
私にとっての平和は、他の国や人を認めあって、み
んなが平等になって、相手のことも考えるとい
うのが平和であって大切なことだと思います。

「原爆先生」から聞いた話によると、1945年
8月6日に広島に初めて原爆が投下されたそ
うです。当時の広島市の人口は約35万人に対し
被爆者は約24万人で死者は14万人死
亡率は40%にも昇ったそうです。これは5人に
2人のちが亡なられている計算です。

ぼくはこのことを聞いてもし投下した相手
の人が母国や自国に原爆が落とされたらそ
の人はどのような気持ちになるのか、とり残され
た家族はどうなるのか、そのことを考えたのか
と思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/2

それでもまだ平和だと思ってる人はいると思います。たしかに昔よりかは平和にはなっています。けれど内戦が世界問題それに差別もまだあります。減らせることだしまだ相手の気持ちも考えられていないと思うので平和じゃないと思います。

差別が減って相手の事を認められたり相手の気持ちになると平和になると思います。これからは頑張っている人がいたら応援したいです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/3

池田先生、原爆についてお話を聞かせて
もらいありがとうございます。先生のお話を
聞いて「平和」についての意見文を書きました。請
んでもらえるとうれしいです。

みなさんは「平和」について考えたことがあり
ますか。今、日本は平和でありますか。日本以外の他
の国は平和ではないところがあります。地球上の全
世界が「平和」になるためにぼくは「武器をなくし発
展途上国をえん助したり助けたりする活動」を行え
ばいいと考えました。

原爆先生から聞いた話は一九四五年八月
六日広島県に世界で初めて原子爆弾が投下
された話でした。原子爆弾の名前は「リトル
ボーイ」で直径は二百メートルで重さは百トン、毎秒
四百五十メートルで進むものだと聞きました。毎秒とは
一秒にどれだけの進むかを表すものですね。池田義三さん
たちは皆実地で被災者を助けようとして、原
子爆弾のせいで手をかざるとすると手の皮がむけトラ
ウマに乗れない人がいたという。被災者たちは



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

2/13

自分の体のことわすれて夢中でトレーニングに乗ろうとしてそうとう生きたかたと思いました。

発展途上国をえん目かすること、平和になるとは考えにくいと思います。石狩かにえん目をして直接平和につながるとは感じにくいですが

しかし、日本はアジアの発展途上国へのえん目をしてそのアジアの発展途上国が経済発展したことで国が平和になり幸せに暮らしている国の例

がある。近年は中東やアフリカなどのえん目が増えているそうです。一方で、問題もあはれその問題とは、日本はたくさんえん目かしてその

えん目が本当に現地の人々の原資にあてているかという事です。ぼくはあてると思います。

そのえん目がいつかは役に立つと思うからですがこのまま日本が中東やアフリカの土地をえん目か

していたら数十年後には全世界が幸せに平和に暮らせると思います。だから発展途上国をえん

目かすることが平和につながります。

武器をなくしえん目かすることが平和につながるかと考



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/13

え、ます。発展途上国の技術の発展を日本国民が理解することが必要です。理解することで日本国民の全員が興味を持ちボランティアをする人が増えよりよい社会になり平和につながると思はします。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

1/2

池田先生、原子爆弾について、学校に話をしに来ていただきありがとうございます。先生の話を聞いて、「平和」についての意見文を書きました。読んでください。

私は、今の世の中が平和ではないと考えている。みなさんは、今の世の中が平和だと考えたことがあるだろうか。今の世の中には、核兵器や原子爆弾を使っている国がある。しかし、平和な世界をつくるためには、核兵器や原子爆弾などはいらない。なので、私は戦争や原子爆弾で亡くなった方、そして今、世界の争いで苦しんでいる人たちが願うことは、「戦争を起しはけない。」そして、「核兵器や原子爆弾を使ははけない。」ということだと考える。

原爆先生の話は、広島において原子爆弾により、苦しい思いをした人がたくさんいるという話だった。そして、広島で原子爆弾にあて、生き残った人たちも、けがを負っているのが、たそうだ。私は、この話を聞いて、「もう二度とこのようなことは起こしてはならない。」と私は思った。一人一人の命が大切にできる世界であってほしいと思う。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

2/2

「原爆先生、の話聞いて、もう一つに残、
 てるのが、広島原子爆弾により、「約14万人」
 の人が命を落としたということだ。その人たちは、
 にげようとしたようだけれど、原子爆弾の衝撃波
 の速さが、毎秒440mのすごい速さだ、たので、
 命をうばわれてしまった。こんな99%の人が
 命を落としたのに、今戦争をしている人、核兵器
 を使っている国がたくさんある。そのような人たちは、
 1945年の原子爆弾で亡くなった方が、戦争で亡くな、
 り方の「死」をむたにしているとおもは思う。だから、
 過去に生きていた人の苦しんでいた気持ちをおもえ
 る世界であってほしいと思った。

このことから、核兵器や原子爆弾を使わない
 こと、戦争を起こさないことが平和だと思、た。
 自分ができることは、核兵器や原子爆弾を使、てはいけ
 ない、戦争を起こしてはいけないということ、を、
 みんなに伝えていくことだと思、う。



原爆先生の特^{じゅこ}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/3

池田先生、原爆^{じゅこ}についてお話を聞かせていただきありがとうございます。先生のお話を聞いて「平和」について考えて意見文を書きました。ぜひ読んでください。

みなさんは、今「平和」だろうか。ぼくは、「平和」は「問題なく安全に生活できること」だと思う。ぼくは、人によって「平和」はちがうと思う。それは、住んでいる所や環境がちがうからだと思う。今、自分が思う「平和」は、こなりだろうかと思う。原爆先生から聞いた話だと、昔の空襲で、原爆というおそろいものが使われていた。それは、建造物は骨組みだけとなり、人は炭となってきえていくというものだった。「リトルボーイ」とよばれている。エノラ・ガイが広島におとした原爆のことだ。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/13

長さ3.12m.重さ4tで爆発したものの中心の温度は100万度というものすごいものをおとされた。人々の死亡率は約40%で、わけじなどて死んでしまふ人もいた。これを「じごく」という人もいるだろう。

「じごく」を考えたとき、原爆ドームを思い出した。原爆ドームは、もとは「広島県産業奨励館」という名前だったがそれが「骨組」だけになり、原爆ドームとなった。原爆ドームは単戈争かあつたというあかした。単戈争は平和じゃない。この人々はほくたろかいろいろを「平和」だと思ふ人は絶対いるだろう。だが、ほくたろの今にも問題はたくさんある。未来でも問題はあつた。ろくか、自分が思う



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/3

平和はこなりと思う。
誰かが問題負なく安全に生きる
こと。ほくは、この状態が続
くことが平和につながると思う。
でも、この平和はこなりと思った。
もしこの平和がくるなら、ほくは
生きていることにとっても感謝する。
みんな協力したすけあい、仲よく
し、問題負がすくない世の中にして
いきたいと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/2

池田先生、原爆にあつたことについておが
りやすく聞かせていただきありがとうございます。
先生のお話を聞いて「平和」について考えた
意見文を書きました。ぜひ読んでください。

みなさんは、最近ニュースで犯罪のことを
話していることが多くなつてきたと思ひ
ませんか。ぼくは、多くなつてきたと思ひますだけ
ど多くなつた犯罪の中でも殺人が多いと思ひ
ました。毎日、1日に何件も殺人が起きているの
を見ることか思ひ浮かびました。ぼくは、人が「自
分と同じ人間という仲間だ」と、全ての人が「思ひこと」
が平和になつたかと思ひます。

「原爆先生」の話は、1945年に広島に原子爆
弾が投下された話でした。原子爆弾は太陽よりも
熱い7000度の球体が爆発するものでした。
人々は一瞬で命をうばわれ、生き残つても人間
に見えなくなるような大げんかをおい苦しむ人
がたふさんいました。ぼくは、死んでしまつた人
は、またたふさん生きたかた人じつないかなと思ひ



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

2/2

います。死んだ人々も大けつどをおい苦しむ人々も爆弾を投下した人も同じ人間、仲間がやったことだとぼくは思います。人の命を大切にしようはたりしない世界であってほしいと思います。

人がたくさん死んだ原爆のことを考えたときに池田先生のいっていた灰色の世界を思い出しました。灰色の世界は原子爆弾のはなれた熱線で木植物やガラスはなくなりがじょうなコンクリートと原爆雲だけの世界です。直接熱線を受けた人は一瞬で炭素になり死んでしまいます。ぼくは写真を見せてもらい、上げきでした。武器がこの世界でなくなることが平和につながると思います。

自分と同じ人間という仲間だと全ての人が思うことが平和につながると思います。

ニュースを見て自分ができることは、いろんな人を仲間と見ることだと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

1/3

池田先生、原爆げんぱくについてお話を聞かせていただき、ありがとうございました。

池田先生の話を聞いて、「平和」についての意見文を書きました。ぜひ読んでください。

みなさんは、「平和」とはどんなことが平和か考えたことはありますか。ぼくが最初に頭に浮かんだのは、事件などが起こらないことが平和だと思いました。しかし、事件などは起こってしまいます。だから、ぼくは、これからが平和であるために、「事件を起こさない」という意志をもつこと」が大切だと考えます。

「原爆先生」である池田先生の話では、1945年8月6日、広島に原子爆弾が投下されました。原子爆弾は、中心の温度でも100万度、まわりの温度は7000度あったそうです。ぼくはそれを聞いて、恐ろしいと思いました。原子爆弾により、多くの人が亡くなり、家族を失った人も傷ついたと思います。人々の人生がこんなことで終わってしまうのは、あってはならない



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/3

ことです。「世界が平和を原負ってほしい」そう
思いました。

「事件を起こさないという意志をもって、
事件を起こしてしまう人もいる」と考える
こともあるでしょう。確かに、悪いことだと
わかっていて事件を起こす人もいます。

しかし、『平和のとりでを築く』では、国連の
ユネスコ憲章の一部があります。そこには、
「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、
人の心の中に平和のとりでを築かなければ
ならない。」と記されています。事件を起こさない
という意志だけでなく、事件を防ぐことが出来る
と思います。

ユネスコの世界遺産になった原爆ドームは、
小さいが、ひととき目立つ建物でした。
しかし、その形は原子爆弾により、一瞬で、
失われました。今の日本では、そんなことは
起こっていません。それは、世界が平和を
原負っているからだと、ほくは、思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/3

日本も事件を起こさないという意志を
もつことが必要だと考えます。それこそが
平和へとつながる道なのではないかと
思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

1/3

池田先生、このまゝは原爆について教えてくださり、ありがとうございます。あのあと話を聞いて「平和」について考えた意見文を書きました。目を通してくれるだけでもうれしいです。

「当たり前」の事が当たり前ではなくなるという事を経験した事がありますか？学校に行く事、友達と話す事、勉強したりすること、体を動かしたり、ごはんを食べたり、遊んだりすることがぼくたちは当たり前にできます。ですが、その当たり前ができなくなるとは、どういう事でしょうか。ぼくたちが当たり前にできるは、全員がいつでもできる事なのか。「当たり前」にできるは、みんなが持っている事が、平和につながるかと、ぼくは考えました。

原爆先生と言われている池田先生が原爆について話をしてくれました。その話を聞いたぼくは、ショックを受けました。1945年8月6日午前8時15分に世界初の原子爆弾が広島に落とされました。原爆は、上空600mで直径200mほどの大きさをくわね、中心は100万とにもなりの爆心とせのすぐ下の温度は3000とにもなり、多くの命があつという間に消えてい



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/3

きました。多くの命をうばった原爆をなぜ広島に
投下したのだったのだろうやっして、大勢は仕方な
いにしても、そのあとに何かあわびなりしてくれただ
ろうか。死んでしまっ夫人の中には子どももいたし、こ
れから色々な事が出来るようになるのに、その前に子ども
を殺してしまふのはどうかと思いました。

「人が殺されてしまふと、戦争と言ふ二文字が
思いうかびました。そのころ東京で「オリンピック」を
開たい事かほぼかくいつたのですが、
戦争が始まってしまひ1940年に予定されていた東京
オリンピックが中止になってしまいました。その
時、日本ではやりたい事が自由な出来ない
時代でした。野球やサッカーなど海外で
できたスポーツは全て禁止されてしまいました。
スポーツの大会もできなくなりました。
ヒトモハカネが全て戦争に使われ、スポー
ツ選手も戦争に行かさせられました。それ
は、やはりひどい事だと思ひ、今までが人
はって来て、次東京でオリンピックがやるとなっ



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

名前は裏面に記入してください

3/3

ていて~~選~~手たすはか人はって来たのに戦争
に行かされてしまいました。

ほくは、やはり今、こうやって生活して、意見文も
かけて、友だちといっしょにいられることが
今は当たり前。でも昔は当たり前にはできな
かった。ほくたすは今、生きていられることをあと
感じます。当たり前が当たり前じゃない時
の事を考えると、今自分がやっているスポーツ
など、色々な事ができる事をうれしく思います。
そして、感しゃの気持ちも忘れずに、これからを
大事に生きていこうと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

1/2

池田先生、原爆げんぱくについて、お話を聞かせていただきありがとうございます。先生のお話を聞いて「平和」について考えた意見文を書きました。

みなさんは、「平和」について考えたことがあるだろうか。ぼくが「平和」について考えたときに、政治のことが思いついた。そのときに、「正しい政治家を選び平和にみちびき、言葉で解決できる世の中にする」ということが大切だと考える。

原爆先生である池田先生の話は、1945年8月6日、広島に世界で初めての原子爆弾が投下された時の話だ。死亡率40%でたくさんの方が死んでしまった。そうだとしたら、4000万人が死んでしまったという事でとても悲しいなと思った。また、戦争は言葉で解決できなくて始まったり、国の代表者が変な判断をしてしまったり始まったのだと思う。

そのときに「戦争と幻のオリンピック」という番組を見たことを思い出した。そこで、スポーツが



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/2

できなかったということを聞いた。いい政治家
 家だから、まず戦争をしなかったり、スポーツの夢
 をなくすことはしない判断ができる。あの時は
 天皇が代表者だから選がない。でも今はちがう。
 またヒト・モノ・カネを戦争に使っていたということ
 を聞いた。正しい政治家ならそんなことはしない。

だからこそ、正しい政治家を選び、言葉で解決で
 きることが平和につながると思う。正しい政治家が
 一人でも多くなればいいなと思った。18才になったら、ぼく
 も投票したい。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

1/2

池田先生、私達に原爆のお話をしていたいただきありがとうございました。

先生のお話を聞き、「平和」について考え意見文を書きました。ぜひ読んで下さい。

みなさんは、「平和について考えたことがあるだろうか。私が平和について考えたとき、みんなが仲良くしている姿が思い浮かんだ。私はこれからが平和であるために『武器がなく人が傷つけ傷つかないこと』が大切だと考える。

「原爆先生」である池田先生の話は、1945年8月6日、広島に世界で初めて原子爆弾が投下された時の話だ。た。原爆によって多くの命が奪れ、生き残っても火傷で苦しむ人が大勢いたそうだ。そう、原爆で多くの犠牲をともなった。争いが武器が人によって作られなければ、苦しむ人がいなか、たのではないかと思、た。

武器がなく人が傷つけ傷つかないことを考えたときに、以前見た「戦争と幻のオリンピック」という番組を思い出した。この番組では、戦争でオリンピック



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/2

中止で、日本代表だ。た選手達が戦争に向かわせられたと語られていた。国の命令で戦場に行き選手達の多くが亡くな。てしま。たことに衝撃を受けた。だからこそ、人が武器で傷つけず、分かりあうことが平和につながるのではないかと思う。

武器がないだけで平和であると考えにくい人もいるだろう。確かに、武器がなくなるだけで争いがなくなるわけではない。しかし、武器がなく、みんなが仲良くできているのは平和だからこそできることではないだろうか。なので私は、武器で人が傷つけ傷つかないことが平和につながるのではないかと思。た。

武器がなく人が傷つき傷つけあわないこと。みんなと仲良くできること。私は、この状態が続くことが平和につながると思う。私が今みんなと仲良くできることに感謝したい。今も人が人によ。て傷つくことは、まだまだある。その過ちを反省したがい。に学びそのことをおこさないようにしたいと思う。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

1/3

池田先生、原子爆弾についてのお話を聞かせて
いただきありがとうございました。

先生のお話を聞いて、平和について考えた意見文
を書きました。ぜひ読んでください。

みなさんは、この世界が平和であると思うだろ
うか。私はそう思わない。なぜかという、世界では
まだまだ国や組織同士で戦争や紛争が起き、
たくさんの人々がケガをしたり、せしかり、不幸になっ
ているためだ。だから、このようにしたら平和になるかと考
ると、火のキによって人が傷つけられたり、殺されたりせず、
争うことをやめ、争いが起きても、武力でけなく
話し合いで解決することが大切なのではないだろ
うかと考えた。

そう考えた理由は3つある。

1つ目は、始めに書いたように、国や組織同士の争い
に巻き込まれてせしなったり、ケガをしたりする人が
大勢いるためだ。

2つ目は、「原爆先生」の池田先生からお話を聞いた
からである。その話とは、原爆弾の性質、落下地、何人



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/3

を苦しめ、何人を殺したかたまでである。

それを聞き、戦争、そして原子爆弾は人が人を殺すために作った、作ってしまったとしても、^心恐いこの世に

あつてはいけないうた、心に強く刻み、

「こんなことは二度とあつてはいけないうた、たしさんの心に伝えようと思つた。

三日目は、武力で解決するためにはとても大きな「代償」を払わなければいけないうた。

その「代償」とは、争い解決よりも大きな、人々の「命」である。そしてそれは、人類がたしさんの戦争で

学んだはずなのに、今でも戦争をするのたうらうか。

しかし、今の世界では、話し合いで解決している問題も多いうたではないか、など、反論する人もいるのたではないか、確かにそうた。たが、

今でも戦争、米分争をくりかえしている国々も少なくない。

そして、その戦争、米分争が「せ」口にならなければ、真の「平和」とはいえない。つまり、戦争、米分争で苦しむ人、亡くなる人々が「せ」口になり、その人々



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/3

全員が幸せにならなければ、「平和」では
 言えないのである。だから、そのためには国や組織
 同士の問題は、武力ではなく、話し合いで
 解決するべきだと、私は考える。

このことから、世界が平和であるためには、
 国、組織同士の問題を、武力ではなく
 話し合いで解決し、火の手が、人が傷つけ
 られたり殺されたりしないことが大切であると私は
 思う。 そのためには、「一人一人が戦争の恐
 ろしさを伝え、人を傷つけない殺さない」というこ
 とを意識することが大切だと考える。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

1/2

池田先生、原爆げんばくについて言話をしていたときありがとうございます
ございました。

先生のお話を聞いて「平和」について考え意見文を書きました。
ぜひ言売んでください。

みなさんは、「平和」について考えたことがあるだろうか。
ぼくが「平和」について考えたとき、人の手によって人を傷つけてはいけない
ということが思い浮かんだ。ぼくは、これから平和であるために人の手
によって人を傷つけてはいけない」ということが大切だと思った。

「原爆先生」である池田先生の言話は、1945年8月6日広島に世界で初めての原子
爆弾が落下された時の言話だった。

広島に原爆がおとされた外にいた人たちは、いっしょに命をおとした。たて物の中
でも、死んでしまった人もいる。その数をおおせると14万人の命がなくなった。

人の手によって人を傷つけてはいけないと考えたとき、以前見た戦争と平和のコントラスト



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

2/2

という番組を思い出した。この番組
ではサッカーが陸上で日本代表になった
選手達がオリンピックが中止になり出場が
できなかった。国がオリンピック選手を戦争
に向かわせた。そこで多くの人が死んで
いった。オリンピック日本代表選手の人も戦死
した。

そして私は、人の手によって人を傷つ
けてはいけないことだと思ふ。なぜなら
人を傷ついてもかなしくなるだけだし、
人のことを傷つけない状態が永遠に
続くことが平和につながると思ふ。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/2

池田先生、原爆についてのお話を聞かせていただきありがとうございます。また、先生のお話をもとに「平和」についての意見文を書きました。ぜひ、読んでみてください。

私たちは、今戦争のない「平和」な世界で暮らしている。けれど、昔の人は、私たちのように、戦争のない平和な世界で暮らしていたらどうか。平和に暮らしたいのに暮らせない。そんな人もいたのではないだろうか。そこで私は、今のこの世の中のように、「戦争がこのままずっと起きないこと」が平和だと考えた。世界中の人が戦争のない、自分のやりたいことを自由にできる、そんな世の中のことだ。

「原爆先生」である池田先生の話は、1945年8月6日、広島に原子爆弾が投下されたときの話だ。その原子爆弾で、たくさん人の命がうばわれた。この戦争のある時代を生きてきた人々にも、今の私たちのように、好きなことや、やりたいこと、「夢」があつたのではないかと私は思った。ふつうに生活すること、楽しく遊ぶことも、武器で解決することで、多くの人々の命をうばうだけでなく、その人の人生や夢までうばってしまう。だから私は、争いで解決するのではなく人々の夢や願いを大切にできる世界があつてほしいと思った。

他にも、原爆先生から聞いた話の印象に残っている話がある。それは、「原子爆弾投下都市」の話だ。この候補に選ばれたのが



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

2/2

広島、小倉、長崎、横浜、新潟、京都だ。しかし、この候補から、京都が除外された。人間にとって大切な文化財があったのと、日本人の感情をこうりよした、とのことだ。

私はこの話を聞いて、京都だけでも除外されてよかった。文化が守られてよかった。と思った。でも、全地域除外されればいいのに、と思った。もし除外されて、戦争がなくなったら、昔の人々は、ふつうに暮らせたり、学校にかよったりできたのに... と思った。でもこの昔の人々の時代では、戦争が長引くにつれて子供や学生までもが戦争に協力させられたそうだ。私は改めて昔の人々も今の時代の私たちのように平和に暮らせればいいのにと思った。

世界中の人々が戦争のない、自分のやりたいことが自由にできる、そんな世の中が私は平和だと思える。私は、戦争で亡くなってしまった人たちの分まで精一杯自分の人生を生きて、がんばろうと努力している人たちの助けになったり、応援したりしたい。そして、自分も、この平和な世界に感謝しながら生きたい、そう思った。



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

1/2

池田先生、いそかしい中、きてくださってありがとうございます
ございました。池田先生の話を聞いて、私が考える平和
について書きました。

みなさんは、どんなことが平和といえるだろうか。私が考
える平和は、『戦争がない世界』だと思ふ。なせなら、昔は戦争が
あり、平和とは言えなかったからだ。そしてたくさんの方が爆弾に
より命をおとした。

「原爆先生」の話によくと、1945年8月6日に原子爆弾が
落とされたそうだ。そして爆弾によりたくさんの方の命が
次々となくな、ていった。生きていたとしても、けいなど、
痛みをう、たえる人がいたそうだ。大切なものなどもす、へて
なくな、てしま、うし、また若い人たちもいると思、うのに
命をおとしてしま、うのは、とても悲しいことだ。一人一人
にチャンスがあるのに、それをう、はう、う、う、う、う、う、う、う、
い、け、な、い、し、あ、て、は、な、ら、な、い、と、思、う。

以前見た「戦争と幻のオリンピック」という番組で陸上
選手だ、た鈴木選手は、バトンミスをしてしま、い、失格にな、た。
鈴木選手は自ら志願して軍隊に入隊した。軍隊
にな、って、お、む、を、え、ま、い、ん、を、殺、した。これは、お、わ、ひ、の、た、め



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

2/2

にはいったのだろうか。鈴木選手はくいのない楽しい

オリンピックにしたか、たと思う。そして人を殺すということ

はのぞんでは、いなか、たと思った。

スポーツが戦争にかわるのもおかしいし、スポーツが

何かに利用されるものでもない。いまスポーツが戦争に

かわってしまうと、やりたいことが、すべてうばわれてしまう

から、戦争がおかしいと思える世界になてほしい。

自分はいま戦争の時代にうまれなくてよか、たと思った。

おはあちゃんやおじいちゃんは戦争の時代で生まれたとい

うことをすごくよくいする。私は、戦争は、いけないし

あ、てはならないという意識をもつようにする。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

1/2

池田先生、原爆についてお話を聞かせていただきありがとうございました。

先生のお話を聞いて平和について考えた意見文を書きました。ぜひ読んでください。

ぼくは、平和だと思う。なぜなら戦争がないからだ。国と国が仲良くすれば戦争など起らないから国と国が仲良くしていけば戦争などはおきず平和な世界になると思う。

ぼくが原爆先生から聞いたことは原爆でやけどをしていて、もうふる、や肉がとけたことだ。そのことから戦争があったら、みんな苦しい思いをする。そうしたら戦争は二度と起していけはいけんかだと思った。

ぼくは、「戦争とまぼろしのオリンピック」の番組を見て、びっくりしたのは軍隊にケチがなまやだめだとかかったことだ。だからやりたくなくてもやらなまやだめだとかかった。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

名前は裏面に記入してください

2/2

戦争でボールを使うスポーツができない
 時があった。戦争でスポーツができないのは
 悲しい。だから今はそんなのがなからでき
 るだけ、感謝をしたい。

どんな人にもこのように戦争があつて
 ほしいと思わない人がたくさん。今は戦争
 がない。しかし、戦争が走りきるかは
 だれにもわからない。戦争していないから
 スポーツができることに、感謝をし
 ている。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

1/3

池田先生、原爆についてお話を聞かせていただきありがとうございます。先生の話聞いて、「平和」について考えた意見文を書きました。ぜひ読んでください。

みなさんは「平和」とはどのような事だと考えますか。ぼくが考えるのは「戦争」「武器」この2つが無くなる事です。しかし、まだまだ外国では「武器」や「兵器」を持っている国があります。そういった国々が「武器」を捨て、和解しようという心が大切だと思います。

原爆について伝えている池田先生の話は、1945年8月6日広島で世界で初めての原子爆弾が投下されたというものでした。この原爆により広島の人々は一瞬のうちに命を落とし、生きのびたとしても骨ごと病にくるしむ人が大勢いたそうです。「戦争」には「武



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/3

器」がつきものです。そしてより強かな
「兵器」が開発されてきました。しかし
ぼくは逆に考えてみたのです。「戦争」
=「武器」ならば「武器のない世界」=
「戦争もない世界」だと思っただけです。

昔は「兵器」がつくられておらず、刀
などの近接武器で争っていたためにあま
り大きな国同士の「戦争」はおこりにく
かったのです。しかし原子爆弾やミサイ
ルなどの「兵器」が開発されてから遠く
からも相手をこうげきできるようにな
ってしまいました。なので「戦争」が広
大してしまっただけです。ぼくはこの現
状から「兵器」などをつくったのが間違
いだと思っただけです。「兵器」がなければ
遠くの国との争い事もおこりません。
また関係のない人までまきこんでタダくの
ぎせい者が出てしまう無差別的な物なの
で必要ないと考えます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこウ

表

名前は裏面に記入してください

3/3

だからこそ「戦争」と「武器」の二つが無くなる事が平和への道しるべとなると考えます。ぼくは子どものころのうちに「戦争」や「武器」のことをもっと知っておきたいと思います。また大人になってからも「戦争」を無くすという気持ちも忘れないようにしたいです。そして、インターネットなどの広く伝わるようなものを使って、今の現状を解決すべくうったえかけたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

1/2

池田先生、原爆についてお話を聞かせていただきありがとうございます。先生のお話を聞いて、「平和」について考えた意見文を書きました。ぜひ読んでください。

『武器、戦争がなく自由な世界』これが平和な世界だと、ぼくは考える。なぜなら、他の国では、ミサイルをうったり、テロリストなどによって、多くの人か命を落とし、生きる道や自由をうばわれている。だからぼくは、武器、戦争がなく、自由な世界が平和と考える。

原爆について、伝えている池田先生の話は、1945年8月6日、広島に原子爆弾が投下された時の話だった。原爆によって、多くの命が一瞬でうばわれ、生き残ってもやけどに苦しむ人が大勢いたそうだ。広島の人々はもともと生きてきたかたと思う。でも、命がうばわれては、生きることができない。でも、戦争がなければ、原爆はつくれなかつたと思うし、広島の人々も、もともと生きてきたかたと思う。だからこう戦争のない世界が平和だと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/2

自由をうばわれていることを考えた時に、以前見た「戦争と幻のオリンピック」という番組を思い出した。この番組では、サッカー日本代表の選手たちがオリンピックに行くことが許されず、戦争に行かされることが語られていた。その中で、松永選手は、指導者になりたい、という夢をもっていたそうだ。でも、その夢はかなうことがなく、戦死してしまった。松永選手は、サッカーをやりたいという自由をうばわれてしまっていた。ぼくは、サッカーをやって楽しんでいる。だからこそ、自分ができるスポーツの時間を大切にしていきたい。武器、戦争がなく自由な世界。ぼくは、この状態が続くことが平和につながると考える。ぼくは今生きることができ、様々なことができる。だからこそ、ぼく自身が、だれかの自由をうばわないように、そして、だれかの支えになるような人間になりたい。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/1

池田先生、原爆については話を聞かせていただき、有難うございました。先生のお話を聞いて、平和について考えた意欲を書籍などで読んでください。

僕が考える平和というのは、武器がなく、争いのない世界のことだと思います。僕はこれらが平和であるために、武器を必要としない世界にしようとする思いをみなか持たなければならぬと思います。

池田先生の話によれば、1945年8月6日広島に世界で初めて原子爆弾が投下された日、原爆によって多くの人が命を落とし、生き残れば火傷や放射線によって多くの人が苦しんだそうです。このような罪のない人の命を落とすような武器はあってはならないと思いました。この武器がある時点で、もう平和はなれないということが分かりました。だからこの武器はなくさない限りはならないと思います。

今、警察や軍隊の武器が、犯罪、争いなどを止め、平和を守っていると思いがいるかもしれませんが、しかし、本当は武器を持っていることで、争いが起きるのではないのかと思います。だから本当の平和というのは、武器を必要としない武器を持つと自分が平和な世界のことだと思います。

これから平和であるために武器、争いをなくさない限りはなりません。そのために、戦争のおそさを後継に伝え、二度とこのようなことが起こらないようにしたいと思っています。戦争を止めて平和な世の中であらうにしたいです。



原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/2

池田先生、原爆^{じゅこう}についてお話を聞かせていただきありがとうございます。先生のお話を聞いて「平和」について考えた意見文を書きました。ぜひ読んでください。

みなさんは、「戦争」について考えたことがあるだろうか。ぼくが戦争について考えた時に戦争で多くの人^{ひと}が命をおとしたことが思いついた。そう思ったので「戦争は二度とおこしてはならない」と考えました。

「原爆先生」である池田先生の話は、1945年8月6日広島に世界で初めての原子爆弾が投下された時の話でした。原爆が広島に投下されて14万人もの死者がでてしまった。なので戦争ももうおこしてはいけな^いいと考えました。

むかし戦争のせいで^{せいで}「^いん^{てい}」^{てい}と^なってしま^った。オリンピックのビデオを見て、むかしは、オリンピックに出るはず^だった人^{ひと}も戦争^{せんそう}に^いか^された^じき^があり、オリンピックに出れたはずなのに



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/2

出れなくなっただけでもかあ、そう
だと思いました。オリンピックの競技が戦争に
つかわれていたじまがあったそうです。
オリンピックは平和のさいえいなので戦争には、
つかってはいけなないと思いました。それにもう、
オリンピックを戦争でなくならせたくないのて
戦争は、二度としてはいけなないと考えた。
ぼくは国民が武器をもたず、手を出す前に
口でかいけつてきたら二度と戦争をおこさず、
平和につながると考えました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/1

池田先生、原爆^{じゅこう}についてお話を聞かせていただき、ありがとうございます。ありがとうございました。先生のお話を聞いて、平和について考えた意見文を書きました。ぜひ読んでください。

みなさんは「平和」ということについて考えた事はあるでしょうか。私は一度も考えたことはなかったです。しかし原爆先生の話を聞いて、世界の人々のみんなが、仲良くたれは良いなと考えました。

原爆先生である池田先生のお話で、1945年、8月6日に広島で初めての原子爆弾が落とされて、多くの方が亡くなったことを知りました。私は人々がみんな仲良くあったら、戦争なんておこさないと思いました。

しかし「戦争と平和のオリンピック」という番組で、いろいろな国の人々がオリンピックの閉会式で手をつないでいました。

私はそれを見て、仲が良いように見えました。

そのことから私は、人々がみんな仲良くすることが平和であると考えます。私も友達と仲良く平和に過ごしていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこ}別授業を受講して

表

1/3

池田先生、原爆についてお話を聞かせていただきありがとうございました。先生のお話を聞いて、「平和」について考えた意見を書きました。ぜひ読んでください。

みなさんは誰かと協力して、物事を成功させたことはあるだろうか。私の好きな野球は協力すること、1人でできないことである。他にも、勉強では、友達の見解を聞いたり、自分の意見を発表したりして、考えを深めている。他にも例えば合奏だ。木琴1つではいい音楽にはならない。みんなで協力して、ピアノやキーボードなどを加えることでよりよい音楽になる。逆に協力ができないと、ピアノやキーボードなど他の楽器を担当する人がいなくなり、いい音楽はできないと思う。だから私は、これからが平和であるために、『どんな人でも分かり合い、協力すること』が大切だ」と考える。

「原爆先生」である池田先生の話によると、1945年8月6日に広島に世界で初めての原子爆弾が投下されたようだ。原爆によって、広島市の人口35万人の中の14万人が亡くなった。死亡率40%で5人に2人の確率で亡くなってしまったようだ。原爆によって亡くなってしま



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

2/3

大人は、色々な人と協力することで楽しめることができなくなりました。また、自分は生きていても、分かり合ってきた人、協力していた人の命が奪われてしまったかもしれない。それはどれだけ悲しく、辛いことなのだろうか。戦争を起さないという気持ちを持っている人どうしと協力すれば戦争を起そうとしている人をとめることにつながると思う。こうして戦争がなくなり、協力できる世界になってほしいと思った。

しかし、分かり合っても協力してもできないことはあるかもしれない。しかも、それ自体が平和につながることは考えにくい人もいるだろう。石雀かに、協力して足を引っ張ったり、足を引っ張られたりしてバラバラになってしまうときもある。だが、思いが違っても、分かり合うことで戦争はしてはいけないという気持ちだけが残るのではないだろうか。また、協力しないことできないことはたくさんある。協力するためには、分かり合うことが必要だと思う。また、誰かが失敗してしまっても、協力して助け合う。それが、これからは平和な世の中になっていくためには、大切なことだと考える。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

3/3

どんな人でも分かり合い、協力すること。私はこうす
 ることが平和につながると思う。私は今、友達と協
 力して楽しいことができていることを忘れず、一生懸命
 取り組みたいです。そして、今以上に友達と分かり合い、仲
 間意識を高め、仲間と協力する。また、苦手な人
 でも、おたがいのいいところを探したい。また、分か
 り合い、おたがいの悪いところを協力してカバーする。
 そうして色々な事に挑戦していきたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

1/2

池田先生、原爆^{じゅこう}についての貴重なお話を聞かせてくださり、ありがとうございました。下に書いてあるのは私が思う「平和」についての意見文です。

あなたは、今の世界を「平和」だと思えますか？私の中では、誰もか楽しく豊かなくらしができたし、みんなが苦しまずに助け合いながら、生きてゆくことが「平和」だと思えます。そして、みんなが笑顔になる、みんなが社会になることが、大切だと思えます。

「原爆被害のお話」や「原爆」の事がある教科書を読んだり、聞いたりしました。あの原子爆弾が投下された1945年8月6日午前8時15分、広島にいた人々は強烈な熱線と爆風、そして放射線もあり、ほんの一瞬で命を奪われて、生き残っても、火傷などで傷つき、113人の死者がいた。爆心地にあった「原爆ドーム」は、ほとんどこぼれ落ちてしまいました。このあと、原爆が投下されて数十年後、被爆が原因で死んでしまう人もいました。それを知って、私は、罪のない人々があの核兵器で命を奪われるのは、おかしいと思いました。また核兵器で人を苦しめるより、人を命を奪わない方法で解決してほしいと思います。

私たちは、食糧が足りなくなり楽しくありません。世界の中には、不自由なくらい、食糧が乏しくとれていかなかったり、中には、学費でいかに貧乏な子どもが死んでしまったりするニュースを見たりすると、「かわいそう」と思ってしまうか苦しくなります。そんな世界の貧民や戦争で苦しんでいる人々を助けた人がいます。その人は、マザー・テレサやナイチンゲールです。この人たちは、苦しんでいる人を助けて、ノーベル賞をとったり、人に愛されています。この本を読んで思ったことは、苦しんでいる人を助ける仕事について、自分もやってみたいと思いました。そういう活動も大人になったらボランティアなどにはいって助けたいと思います。



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/2

た。

誰も楽しく豊かな生活をするためには、「自分たちが平和のためにもいい」と思わないで、ほかの国々の人々の事を考えて、苦しい思いをしている人たちに、さぶななどを送ってあげて、……くしにして、自分ができる事から始め、平和になががかなるのにはないかと思っています。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/2

池田先生、お忙しい中、大四小に来て原爆について教えてくださり、ありがとうございました。みなさんは、「平和」とは何か考えたことがありますか。ぼくが平和とは、何か考えたときに、みんなが楽しく生活できることが思いつかびました。ぼくは、これからが平和であるために「だれもが自分の夢がかなえられること」と「みんなが楽しく安全に生活できること」が大切だと考えています。

「原爆先生の話を聞いて、原爆で多くの人が一瞬でなくなり、建物なども一瞬でなくなりました。さらに、その原爆での死亡率がなんと40%だということも知りました。

約5人に2人がなくなっているのです。この時代を生きた人も自分なりの夢をみんな持っていたと思います。なくなってしまうと夢をかなえることもできず、楽しく生活することもできません。今の時代には、原爆などが無いからあまり昔のことは分からないけれど、とても大変だ。たんだろうなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/2

自分の夢がかなえられることを考えたときに、「あのオリンピックを見たのを思い出しました。この話を聞いて、戦争でオリンピックに出たかった選手たちが出られなくなつたことを知りました。このことを知ってぼくは、戦争で自分の夢を捨てるなんてあってはならないんだなと思いました。他にも自分で自分の行動を決められないことにしゅげきを受けました。今自分がやりたいことができていることをあたりまえと思わずに生活していきたいです。

だれもが自分の夢をかなえられること。みんなが楽しく生活できることが続くと平和になつるとぼくは考えています。今自分がおいしい物を食べたり友達と仲よく過ごしていることをあたりまえと思わないようにしたいです。そして、自分の夢のためにがんばっている人がいたら応援していきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/2

池田先生、今回 は 私たちのために、特別 授業 をしていただき、
 ありがとうございます。私は 池田先生 のお話を聞いて 原爆 という兵器は
 絶対にあってはならないものだと思います。そもそも、原爆での事件が過去にあった
 というのは知っていたのですが、五人に二人の被害者がとくなくてしもう おそろしい事件
 だったのは知りませんでした。そこから私は原爆の兵器はとをなくすることの平和
 につながるのではと考えました。池田先生のお父さんが 経験した 広島大空襲のことを
 11に 日本は 1946年 に日本国憲法の三大原則として 平和主義 が定められ、戦
 争をしないと誓いました。が、戦争は 行われていなくても 今、北朝鮮 が 日本 の近く
 にミサイルを打ちこんだり、さらに 世界ではアフガニスタンなどで 戦争 が続いている。
 とても平和とは言えません。それが 原爆の兵器 がなくなればどうい。たことは
 なくあるのではと考えます。平和について 私たちより以前に「戦争と幻のオリンピック」
 という本を思い出しました。この書籍では、戦争中のため、オリンピックは出ないから
 、大選手が戦争に行かされたという出来事を 紹介 していました。この選手は
 日本が平和にならなため、オリンピックに出ることが出来ませんでした。何もないと
 できるというのも平和であるのかと思いましたが、私は 戦争のことを知り、最初に思。たのは
 選手を忘れないでほしい。そして次の世代にもこのことを伝えてほしい。と思。いました。こ
 のことを伝え続けているかなければ、またこの悲劇を繰り返してしま。うからで。す。最
 近に 池田先生のように戦争のことを伝える人が増えな。てきていると聞。きました。私は何もない



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

名前は裏面に記入してください

2 / 2

これが出来れば今日教員を呼ばれる事になります。なので、池田先生の授業の事をお伝えする人

になりなさい。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/1

池田先生、原爆のこわさや体験について話していただきありがとうございます。

私はお休みしていたのでお言事は聞けなかったのですが、フットなどを見て色々なことについて知りました。

原爆が落とされる都市の条件や被害の凄さ、原爆のもっている熱。それぞれの資料が当時のおそろしさを物語っています。

それを知って私は、「自分にあたら」と思いました。

広島では多くの死者が出ており、人口35万人の町で14万人が死んでしまった

という。もし自分たちの町にも、一つも予告が一つもなしに、太陽よりも高熱

なものが落ちて来て、「上空600m」で爆発したら...。600mというものは近い

ものなので、爆風で吹き飛ばされ、放射線もあつて死んでしまいます。

書いている私も想像しただけで、きょうふしがありません。なので、

戦争などの争いがおきぬようにしたいです。しかし、今の日本は、国同士の

話し合いがうまくいってないところがあるのでは平和とは言いきれないと、

思います。自分に何かできることがあれば、何かの支えになればいいと、

思います。小さなことでもいいので、始めていきたいです。



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/2

池田先生原爆の体験の話をしていただきありがとうございます。

池田先生の話をもとに意見文を書きます。

ぼくが考える平和とは争いなき事
 が出来ることがあること、これが
 平和だと思えます。昔は大人になると
 単独場にまると命をすてるようにほ
 うりにまれます。そのまま死んでゆく。
 何もできず。ぼくは戦争そのものが
 兵器だと思えます。たくさんの人
 が死んでも何事もなかったかのように
 終る。戦争で死んだ人は墓を
 なくされる。原爆とぼくがある。た
 くさんの人が死に、生きのこった人も
 やけどに苦しんだ。その人たち「死
 んだほうがましだ」と思ったかもし
 れない。これ以上人を傷つけないと僕
 は思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/2

ぼくが考える平和は「好きなことが出
きて自由であることだ」と思います。今は戦争
はそんなおこらないけれど、殺人や強盗などの
犯罪がたくさんおこっているので、決して平和
とは言えません。ぼくは戦争や犯罪が
糸色えなにかぎり、平和は来ないと思います。
そのような争いごとがない世界を打つていきます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/2

池田先生、先日は、原爆の貴重なお話も聞かせてくださり誠にありがとうございました。

池田先生のお話を聞いて平和について考えてみました。多くの考える平和とは人同士が争わないことです。なぜそう思ったかというところ、その争いで大切なものを失なってしまう。亡くなってしまう、消えてしまうからです。単に争のない笑顔ばかりの毎日がずっと続く世の中にあってほしいです。しかしそれを実現するのは難しいと思います。

1945年8月6日広島に世界初の原子爆弾が投下されました。そのたまた一つの火爆弾で多くの人々が亡くなってしまった(約38万人)。多くは人同士の無意味な争いで何の関係のない人が次々と亡くなりゆくのは「とても許せない」と思います。無関係の亡くなった人々ばかりでいかりでいっぱいだと思います。以前見た「戦争とオリンピック」という番組では、日本代表だったサッカーの選手たちが、オリンピックの行くのを許されず戦争に行く話や、スポーツ選手のリリースのバトンのおたしミスで、戦争に行くことになった話がありました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/2

ぼくはこの話を見て昔はこんな悲しいことがあったのか
 と思いましたが人間同士から生まれた 無意味な戦争で
 やりたいことや、楽しみにしていたものを失うのはとても
 辛い世です。結果的にぼくの考え平知しは、人間同士が争った
 ことです。戦争のせいで大切なものを失った。たまた一つの原爆
 で多くの人が亡くなり、戦争のせいでかたがたからを憂。ぼくは
 このすべてがやめさせません。二度とこのような争いがおきないように
 するの大切だと思います。むやみに人や動物、生き物の命
 をうばわないことです。これは、とても大切なことだと思
 います。殺さなければ、死な、殺すな、と、ぼくは、
 聞いてほしいな、と思います。ぼくは、これを大切にして
 これからの人生を生きていきたい、と思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

1/2

池田先生、父のよしろうさんのお話を聞かせていただきありがとうございます。そのことをもとにして「平和」であるための意見文を書きました。(これから先は意見文です。)

「兵隊さん、助けを…」それはよしろうさんが実際に助けを
求めている人から聞いた言葉だ。そしてよしろうさんは助けな
うとした。が、助けることができなかった。私はよしろうさんがか
んばって助けようとしていたのに…と考えた。でも助けよう
とする努力をするのが一番大事なことであると私は思う。
今言ったように、よしろうさんは助けを求めている人は、ト
ラックの台に乗ろうとしたが、手を引っ張ることもできず、ただ
ぼろぼろと見るだけだったという話があった。その人々は
原爆地に近づくとつれ、もう人間の姿ではなくなっていた。
そうだが、今でも原爆資料館でそれを再現している物がある。
うだが、実際に体験をしたよしろうさんは「きれい」と一言た
け言った。私はよしろうさんは、その姿は、再現した物よりお
そろしく、こわくて、見ているだけでつらいことだ”と思ったんじや
ないかと考えた。私は、結果が出せるかは、置いといて、その
勇気を出すことがすごいと思った。そして助けようとするかしない
かとは、大きな差があるんだと学び、そのような人が増えると、平



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/2

和になるのではと考えた。 ニュースなどでやっているが、
まずしい国では、国どうしの戦争が、それによって、苦しい生活
となり、助けを求めているところがある。でもそれは、もう助け
られているんじゃないかと考えている人もいるだろう。
けれども、まだ全員が学校に行けたり食べ物を食べる
ことができたりしているわけじゃない。だからまだ私たちが
力になれるのだ。できることをするのか、人を助けることだ。
また、それに関連することもある。ゴミがタタク出されてい
ることだ。日本では、まだ使える物を捨てたり、古い物を
ムダにしたりしている。まずしい国では、きたない水など、使わ
ない。でも私たちの国はめぐまれている。だからそのこと
に感謝をしなきゃいけない。そして問題を少なくするんだ。
と私は思っている。人を助けようと努力するのは大切だ。
たとえ結果は出せなくともいい。そんなことを考える人が
増えると平和だと思ふ。平和になるため、自主的に、
積極的に、助け合い、人のためになることをしよう
と思ふ。まだまだできることに協力したい。



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/2

池田先生、戦争のお話を聞かせてくれてありがた
うございました。他に聞いたことある話ですが戦争
ほど怖くないから「か」オリンピック選手になろうと
する人も軍隊にな、て希望が失われることがあった。
軍隊からはさがらなくなり、戦争に行、て
死んでしまう。今は戦争が終わり平和にな、てきた
時代。昔の人のおかげで平和にな、たとほくは
思う。

「原爆先生」である池田先生の言葉は、原爆で
多くの方が死んでしま、たこと。生き残れても
火傷で苦しむ人もいた。いまは、やりたいこと
が出来るけど、昔は、やりたいことが出来なかつた
か。一人一人大切な世界であ、てほしい。
戦争をや、てリトルボーイを投下しなければ
平和だと思、った。昔の人も平和にくらしたいと思、て
いたけれど、原爆い、はがなかつた。人を悲
しい思いにさせないよう、にするために戦争は
や、てはいけな、い。それは人を悲しくすること
だから戦争をや、らない、いい世界であ、てほしい。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/2

昔、誰もが希望を失われていく時代があった。戦争はいつ
 来てもみんな死んでしまうこと。昔の人のおかげで
 生きている。ぼくは好きなことができてからいい。
 感謝の気持ちをもつて世界を平和にしていきたい。



原爆先生の特別授業を^{じゆこう}愛講して

表

名前は裏面に記入してください

1/2

池田先生、原爆の体験のお言話を聞かせてくださり、ありがとうございます。私が思う「平和」は、単戈争がないうことです。単戈争がないうことと考えると、火暴弓弾や、単戈車がないうたら、単戈争がなくなると人の命が奪われることのない、平和な世界になると思いました。

1945年8月6日に広島で初めての原子火暴弓弾が投下されたとき、多くの方が世にならなくなったことを聞いて、とむかなしくなりました。私は、人の命が争いや誰かの手によつて奪われるということは、あつてはないうと思ひました。やりたいうことに取組むことを考えたときに、クラスで「単戈争とゆくのオリンピック」という番組を、観たのを思い出しました。その番組では、ゆくのオリンピックのサッカー選手がサッカーでオリンピックに行くことが言われて



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

2/2

戦争にいくことにならしてしまう事が
 言われていました。私は、自分のやりたいこと
 ができなくて、国からいわれたことを
 しなければいけないことを矢張りして
 おきました。でも今は、自分で好きな
 ことをできるの？みんなが自由に好きな
 ことをできれば、この世界は、平和
 だと思えます。

私は、戦争がなくなれば、戦争
 車、がなくなれば、世界が平和だ
 と考えました。でも、それは本当に平和
 なの？しょうか。は？戦争がなくな
 ても、人の命をうばうことをしては、この世界に
 たくさんいます。なので、私は、火暴弓車や戦争
 車、がなくなれば、世界でも、平和ではない
 と思いましたが、そのために、私は、自分のできる
 ことをやりたいと思っていました。それは、
 人の命を大切にしようとするポスター
 などいろいろがこの世界のためにやりたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

1/2

池田先生、原爆の貴重な話を聞かせてくださり、

ありがとうございました。

みなさんは、「平和にするための努力について考えたことが、ありますか。私が「平和にするための努力」について考えた時に、内戦などがなく世界みんなで、努力できることが平和だと思いました。

私は、これからか平和であるために、「かく兵器を使わないで、解決すること」が大切だと考えました。だから、原爆を落しては、いけないと思いました。

1945年8月6日、広島に「リトルボーイ」という約四トンもの重さがある原子爆弾が、投下された時の話を「原爆先生」である池田先生から聞きました。よしごうさんは基地からの命令で、死体運びをまかされたそうです。私はとても苦痛だと思います。罪のない人を火然やすのは、悲しいです。

私は、「悲しい」を考えた時に、以前見た戦争と幻のオリンピックという番組を思い出しました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/2

この番組では、陸上選手である鈴木選手について紹介していましたが、バトンミスをしてしまい、つくなうために軍隊入りを志願して、手りゅうだんを受けて戦死されました。いところに、送られた手紙には「人を殺したくない」と書かれていたそうです。本心は殺したくなくても殺さなければいけないのが、戦争だと思い悲しくなりました。

内戦がなく、世界みんなが平和になるための努力ができる、また、かく兵器を使わずに話し合いで解決できることが平和だと思います。だからこそ、私たちも、ケンカをしてしまったらすぐに、仲直りをするといいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

名前は裏面に記入してください

表

1/2

池田先生、原爆のお話を聞かせてくださり、ありがとうございました。そのことから自分達は「平和」をテーマにした、意見文を書きました。

みなさんは、「平和」について考えたことがありますか。平和とは、争いがなく、自由に何かを楽しくできることだと自分は思っています。でも、平和を考えたときに、全員が学校、家で安全に暮らしていることが平和だと思いました。でも、世界全員が平和ではないので、自分は、考えた。「全員が楽しく、何かを自由にできること」が大変だと思いました。1945年の8月6日に世界で初めての原子爆弾が広島に投下されました。投下された瞬間に多くの人の命が奪われてしまいました。この時代何かを過激に、自由がない人も居たので特にその人たちは、旅行などして、もと世界を楽しみたかったと思います。でも楽しみたかった人は、戦争の原爆によって命が奪われてしまい、楽しめなくなっていました。なので糸色文対に戦争を



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/2

起こしては、いけないと思いましたが、でも、人それぞれ
 平和の考え方が「違う」と自分は思います。だから、楽
 しいことや自由なことができて、平和と捉える
 のは、難しいと思いましたが、楽しいこと、自由なこ
 とができるということは、平和だからこそできる
 ことだと自分は、思います。平和でなければ、楽
 しいことも自由なこともできないと思います。戦争
 が起きていたころは、自由なこともできず、国から
 言われたことに従わないといけないから、たけ
 れど、今は、自由なことができていると自分は思
 います。だから今は、平和だと思っただ。今でも、自
 由を失い、楽しめない人がいるため、今の
 自分は、こう思った。世界全体が自由に
 楽しく世界になって、そして何より一番大
 切なのが罪のかけ人を少しでもまきこまな
 いことが一番の平和だと自分は思っています。
 だからこれから平和に近づけるように頑張りと
 戦争を起こさないように、日々努力して、そして
 一日、一日大切にしほしいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/2

池田先生、原爆の体験のお話を聞かせて下さり、ありがとうございました。

「ぼくは、この話を聞いて、考え意見文を書きました。

「被爆者は、必死になって助けを求めた。」
原爆先生は言った。ぼくは、正直少しおどろいた。大けがをして助けを求める人、生き残っても、何があったかどうすればいいか分からずさまよう人。ぼくは悲しさと同時に、このような、原爆によって居場所、食べ物、金銭によって困る人がいないような世界が平和への一歩なのではないかと考えた。そして、このような理由で人の命が失われてはいけなと思う。

原爆先生から、「多くの命が原爆によってうばわれた。」「亡くなった人々の姿は、とても無残だった。」という事を聞いた。ぼくは思った。「なぜ何もしていない人々が、こう何人も、亡くなっていくのだらう。」このような



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/2

実際にあった事実を知ると、こんな事はあってはならないと思うし、平和であってほしいと思う。

しかし、現実にはそう上手くはいかず、世界中でも、このような、戦争、争いのえいきょうで体が不自由になった人や居場所がない人などは多く存在する。そこで、寄付金集めなどの活動を世界で積極的に行えば少しでもこの問題が解消されると思う。

国同士の争いで負傷した人、亡くなった人の居場所、金銭で困る人がいないような世界。このような世界が続くことが平和な世界への第一歩だと思う。

そして、国と国の協力も大事だが、ぼくは、色々な場面で身近な人との協力も大切にしてほしいと思う。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/2

池田先生、原爆の体験のお話を聞かせてくださり、ありがとうございました。

みなさんは、何が「平和」だと考えていますか。私は、世界の
人たちと仲よくせつすることが「平和」だと思います。そのために、
「世界中の人たちが相手のことを思って生活すること」が
大切だと考えました。「原爆先生」の話聞いて、広島
にいた人たちは、五人に二人は死んでしまうと聞きました。

そして太陽より熱い七〇〇〇度。もし私がこの時代にいたら
こわくてたまりません。五人に二人は死んでしまうと聞いてすご
く悲しい気持ちになりました。そこにいた人はやけどなど
きして本当に苦しかったんだろかなあと思います。この前、
「虹のオリンピック」の動画を見て、陸上選手の鈴木選手
がバトンミスで軍隊に入、手榴弾を受け戦死してし
まったお話をみました。そのことで私は、バトンミスは誰もかして
ほうものだから、何回でもリベンジしたらいいのかなあと思いま
した。そのためには、鈴木選手を応援してきた人たちが支えて
あげればいいんじゃないかなあと考えました。「世界中の人たちが
相手のことを思って生活すること」が大切だと考えま
した。私はこの言葉言ったら相手がきすっついて



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/2

しまうかなと考えながら生活したいです。
そして私が願うことは、世界中の人たちが
仲間だと思ってセッすることです。



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/2

池田先生「原爆」について教えてくださりありがとうございました。お話を聞いて平和について考えました。

ところでみなさんは、「本当の平和」ということを考えたことはありませんか。ぼくが「本当の平和」について考えたときは、人々がマシンなどによって自然がこわされてしまわないことだと考えました。そのために大切なことは、自然をもっと大切にすること、武器、マシンをつくらないことだと思いました。

1945年8月6日午前8時15分広島に原子爆弾が投下されました。「原爆先生」の池田先生のお話によると、外にいた人はいっしょんで消え、黒いしみだけが残されたそうです。しかもガレキだけしか残っていなかったそうです。このお話を聞いて、「そんないっしょんで命、自然をなくしてしまういかにある爆弾が広島におとされてしまったんだ...」と思いました。

「ガレキしかなかった」というお話を聞いて、植物は焼けてなくなってしまう、と思いました。植物は、光合成をして、二酸化炭素を吸って、酸素を出していることを理科で習いました。しかも道などによく芝生が習ったので「植物は大切だ」と思います。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

2/2

植物がなくなってしまうと、道がくずれてしまったり、自然が守られるということが平和につながると思います。自然があれば平和であるとは考えられない人もいます。たしかに自然があれば平和になっていくとは、あまり感じられません。今でも紛争などが続いているからです。しかし、自然があるからこそ私達は食べ物を作って食べられるし、動物たちが今いるのも植物が酸素を出していたり、植物が動物たちの食料になっているからだと思います。自然があることは平和につながると思います。みんながマシンなどによって自然がこわされてしまわないことが、ぼくは平和につながると思います。ぼくは、あまりわりばしを使わず、ごみをちゃんと分別して地球にやさしい環境を作っていきたいです。みんなが地球に長くくらすように協力して生活できることをぼくは願っています。今、自然があっ、うれしいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

1/3

池田先生、原爆についての貴重なお話を聞かせてくださり、ありがとうございました。

私は、池田先生の話を聞いて、平和とは、戦争や事件、事故がなく、家族と安心して、しあわせに暮らせることだと考えました。

なので私は、これからが平和であるためにも、戦争や事件、事故は絶対に起きてはいけないと思います。

「原爆先生」である池田先生の話は、1945年8月6日、広島に世界で初めて原子爆弾が投下された時の話でした。その原爆によって、何の罪もない、たくさんの方の命が一瞬でうばわれ、生き残っても、体のひろ、がはがれ、いたくて、つらい思いをしたり、数年後に原爆の後遺症で、いまなりたおれてしまった方も、いたそうです。まだまだ未来があって、夢がある子供達もたくさん亡くなってしまったので、原子爆弾は、悪いことしか起こさない、おそろしい爆弾だっと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/3

戦争などが起こらないことを考えたとき、過去に起きた戦争や、自然災害のことが頭に浮かびました。戦争は、もちろん、自然災害や大きな事故のときは、食べ物か満足に食べられなかったり、いつ何が起きるか分からなかったりして不安な思いをする人がたくさんいます。そして、私がよく親に言われることがあります。それは、「今のぶつうの生活(学校に行けて、ご飯が食べれる)が、とてもしあわせて、感謝しなければならぬことだ」ということを、忘れないように」ということです。たくさんのおしあわせな人が、このことを分かってくれれば、世界中の貧しい人達に積極的に募金や寄付をしてくれる人が増えて、優しい心をもつ人も増えると思います。

戦争などがなくなり、家族と楽しく安心して暮らせること、私はこの状態が続けば、みんなの心も優しくなり、平和にもつながると思います。私は今、何の事件、事故にまきこまれることもなく、家族と楽しく安心して暮らせています。でも、そのことを当た



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

3/3

り前に思わず、日々の暮らしに感謝し、一日一日を大切に過ごしたいです。そして、自分だけでなく、自分以外の人とも平和に暮らしてほしいので、あやしい人を見つけたら、すぐに大人に伝えたりして事件を防いだり、こまている人を助けたりして、その助けをもらった人が良い気持ちで、その後の生活が送れるように、ちょっとしたことでも自分にできることを見つけ、世界中が平和になると良いなと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

1/2

池田先生、お父さんの貴重なお話を聞かせてくださりありがとうございます。ございました。僕は先生のお話を聞いて本当の平和とは何かと考えました。みなさんは本当の平和とはなにか考えたことはあるだろうか。僕は武器をつかわない世界、それが他国との助け合いの一步になると思う。ではなぜ昔の人は大量に人を殺してまでおこなわなければならないのか考えていきたい。それに戦争を起こさないためになにをしなければならぬのかも考えていきたい。僕は武器を使わないことがそのつたと思う。

原爆先生に聞いた話では、広島市に1945年8月6日に原爆が落とされた。そこでは実に14万人もの死者がでたという。その中で生き残った人たちは人なのに人の姿ではなかったという。この話を聞いて僕は、やはり武器を使うからこうなってしまったと思う。何十万人もの人が一度に亡くなってしまふなんてあってはならないことだと思う。やはり、武器を使うのには反対だ。もう二度と同じことをおこしてはならない。8月6日におこったことのように。

だが、こう思った人はいないだろうか。どんなものでも武器にすることができるとはいないか。確かに何れは『ハサミ』などだ。だが、いくら武器に



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/2

なりそうなものでも使いかたしたいではないのではない
だろうか。このように1つ1つのことも戦争に近づけては
ならない。

やはり、武器をもたず、つくりず、もちこまずというのには賛
成で、他国とも武力ではなく平和にしていきたい。
物を武器につかからないことが自分にできること
だ。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

1/2

池田先生、原爆のこわさや貴重なお話ありがとうございました。

ぼくは、池田先生の話聞いて「平和って何だろう」と思った。自分がこのことについて考えた時に、一番最初に思いついたのは、衣食住が出来ていて、自分の思った進みたい道に行けることだ。これから楽しく生活が出来するために、世界の人たちと協力して少しでも困っている人を助けてあげることが大切だと考える。

実際に特別授業を設けてもらい話を聞くと、地上から600m原爆の温度は、100万度気温は、急激に上がり3千度にも上がった。原爆によって広島市の人口35万人に対して14万人の人が亡くなった話を聞いて、まだ未来があった人が14万人亡くなったと考えると原爆のこわさを知り、悲しくなった。しかも3千度といったら夏の気温30度の約100倍と考えたらどれだけ苦しかったかが分かった。ぼくは楽しく生活ができることがとてもすごいことで大切なことだと思った。

ぼくは、楽しく生活ができることが平和と考えたが、考えにくい人もいるんじゃないかと思った。確かにこのこ



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/2

とか「長続きしなかつたら「平和」とは言えない。だが今は、楽しく生活ができていてこれがずっと続いてと人々が願っている。だからほくは、今平和で楽しく生活ができていたと思った。しかし今も日本以外では楽しく、生活ができない国もある。だからこそ国と国が協力し合ってユニセフや募金をして一人でも助けてあげることが一番。平和で楽しく生活できる近道だと思った。

世界の人々が衣食住をすることができていて自分の思った、進みたい道に行けることが長続きして楽しく生活できることが平和ということにつながると思う。まだ困っている人が今もいるかもしれない。だからこそ、自分で少しでも困っている人を助けてあげて不自由をなくすことが大切だと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/3

池田先生 原爆についての体験をくわしく説明していただきありがとうございます。原爆先生の話聞き、僕自身も平和について考えてみました。武力が平和だといえますか。僕は戦争という武力の争いをなくすためには、武器をなくした方がよいと思う。『人が武器で命をおとしてはならない』このことが実現するには、他国と協力をし、争いをやめ戦争という言葉が永久に出ないことが平和への第一歩となるのではないかと思う。原爆先生の話では、1945年8月6日に広島に一発の原子爆弾が落とされたとき、条件とされたものが、都市が直径5kmを越えていて、平野もあり、今まで空襲がなかったところが有力だそう。この条件を満たしている地域の人たちはとてもおびえ、苦しんでいるのだろうと思った。人は武器があると人の心がかわってしまう。それは1945年8月6日の広島と1945年8月9日の長崎に落ちた原子爆弾がそれをものごといている。そのようなことがあつてはならない。だからこそ武器というものをなくした方がよいと思う。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/3

だが、京都は条件を満たしているが文化財などがあつて候補からはずれた。

武器が幸せを作ると考える人がいたとしても身の回りでは武器で苦しみを味わい続けている人がいる。

『表裏』という熟語があるが、今い、たことと深く結びついている。その理由は、表で例えると、戦争で武器を使い幸せを勝ちと、た側とは逆に裏側の人は戦争に負けて苦しみを味わっている。

確かに戦争などでは武器が必要であるが、そのせいで多くの人の命を苦しめてきた。僕がこの立場にいたら、平和をもとめるためであろうとも戦争はしない。その理由は、平和をもとめるためであつても人を殺してはならないからだ。

人が武器や兵器で命をおとってしまう。これは戦争であるとおこってしまう。なので、今の時代が昔と同じことがおこつてはならない。むしろおこしてはならない。

今の日本は戦争や武器がなくどれほど平和だといえるだろう。



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

3/3

今の日本と比べると反対といえるほど世界は戦争や武器がある。しかも、そのせいで罪のない人が命をおとしている。だから世界が、戦争や武器をなくしたらとても平和だといえるので、世界の見方を変えたほうがよいと思う。



池田先生、あまり聞けない貴重なお話を聞かせてくださりありがとうございました。その話から考えたことを意見文にしました。みなさんにとっての平和はなんだろうか。もちろんいろんなことを考える人がいるだろう。しかし、ぼくは「だれもが笑って十分な暮らしかてできること」が平和だと考える。また、たくさんの活動により、世界が平和に向かて変わってきていることも同時に考えた。

原子爆弾が落ちてくることはとても平和とはいえない。池田先生の話によると、地上にいても3000℃以上の高熱がおそってくるそうだ。原子爆弾におそわれた広島市では、人口の35万人中、被爆者数24万人、死者数が14万人にもなりました。このようなことがあては、笑って暮らすことなどできるはずがない。だからこそ、原子爆弾のような核兵器を人に向けて使ってはならないのだ。

ぼくは、今平和にとっても近づいていると思う。だが、そう思わない人もいたろう。今も



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/3

運転手の手による車の事故や人が故意に起こす事件もある。確かにそのようなことが起こるのは大きな問題といえるだろう。しかし、そのような問題に対する工夫がされていないわけではない。例えば、車にたつて事故を起こさないために自力で止まるものがあるし、事件にまきこまれそうになったとき身を守るために使う防犯ブザーなどがある。

他にもたれもが十分な暮らしができるためにされていることがある。ぼくの学校では、年に1回「ユニセフぼ金」というものを行っている。世界で困っている子供たちのために、ワクチンなどをかうお金を集めるのだ。このようなことから、だんだんと世界は平和に向けて進んできていると考えられるだろう。また、それは世界の協力で、少しでも多くの命を守ろうとしているともいえる。このことこそが、平和の象徴であるとはぼくは考えた。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/3

だれもが笑って十分な暮らしができること、これがぼくが考える平和だ。でもそれを実現するには、またこの世界は程遠いかもしれない。だから、そぼくのできることをやっていくこと。これがその平和に近づくための第1歩だ。と思う。ぼくは、リサイクルなどに協力することが自分のできることだ。と思う。リサイクルでは、不要になった服を難民の人に寄付するものもあるからだ。また、身近な人とも助け合うことも大切だ。と思う。この世界中の全ての人助け合えることにもつながっていくと思うからだ。このように人と人が支え合い生きていくこと、これがぼくの考える平和になるための主張だ。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/1

池田先生、貴重なお話をしてくださりありがとうございました。話を聞いて平和について考えました。

ぼくが考える平和は、おもいきり楽しむ事、運重力ができる事、そして今を生き残る事だと思います。原爆先生の話しによると、原爆による死亡率は、高く40%で広島市民の5人に2人であるという事になり、生きていても原爆病になる人が多くて安全とは言えない状況だったようです。

ぼくは、どんな理由があるかと、原爆は五の世にあってはならないと思います。命をばいれたら得る本いからずです。

ぼくは、これから、平和でありつづけたい。だから原子爆弾のような兵器がなくしてほしい。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/2

池田先生、戦争のお話を聞かせてくださり、ありがとうございました。

みなさんは「平和」についてどんなことを思っていますか。私は、戦争がないことが平和だと思っています。みなさんが思う「平和」は、いろいろあると思いますが、一番の平和とは、犯罪や戦争がないことが平和であるために、誰もが犯罪や戦争をおこさないこと、誰もが犯罪や戦争をいやだと思ふ気持ちが大切だと考えます。

原爆先生である池田先生のお話では、温度が太陽よりも熱いこと、そして、広島に世界で初めての原子爆弾が投下された時のたったの死傷者数が十四万人のところでも、かわいそうといふと罪のない人がきせいになってかわいそうといふこと。私は、もう罪のない人がきせいになってほしくないです。一人一人の大切な命や大切な世界をまもりたいです。

「戦争と平和のオリンピック」という番組では、サッカーの日本代表だった選手たちが、戦争でオリンピックに行けなくなったことが



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

名前は裏面に記入してください

2/2

語られていた。国から言われたことに従わなくてはならなかったことを知り、しごきを受けました。今の自分は好きなスポーツができません。

「単戈争」としてのオリンピックも単戈争があって平和ではなくなりました。単戈争がなければ罪のない人がきせいにすることは、なかつた。

単戈争がなければよかった。

だからこそ単戈争がないことをこれからも願っています。そして誰もが単戈争がないことをこれからも願うという気持ちが大切だと考えました。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

1/3

池田先生 原爆の体験のお話を聞かせて
くださりありがとうございました。このお話を聞いて
平和について考えてみました。

みあなたは 軍隊や自衛隊について考えたことはある
だろうか? サッカー日本代表の選手たちが国の命令
により、軍隊に入り戦死、この戦争が無かったら
多くの方が死ななかったら。なぜ戦争が始まったのかと
ぼくは考える。ぼくは軍隊や自衛隊が必要じゃない
世界、そして悪人なんていない世界がぼくの考える
平和な世界だと考える。

「原爆先生」である、池田先生のお話は 1945年 8月6日
広島に投下された。世界で初めての リトルボーイ(原子爆弾)
が投下された。広島に住む人たちはリトルボーイを投下する
ことは想像してもいなかった。リトルボーイは 上空
600m 今で表すならスカイツリーの最上階 上空 7000℃
地上 3000℃ 多くの命が1瞬でうばわれた、
すがすがしい川に飛びこんだ人もその3000℃に川が
たえられず 蒸発して水が無くなり 川に飛びこんだ
人も たちまち火葬け 死んでしまった。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

213

なぜ原子力爆弾を広島に投下したのだらう。

原子力爆弾は元々科学の研究をしていた人の技術ででき、それを広島に投下したのは研究した人はすごく悲しいと思う。争いで誰かの命が落とされるのではなく外国の人たちも一人一人みんなの命を大光刀にしてほしい。

ぼくは、「戦争と虹のオリンピック」という番組を見た。日本代表なのに国の命令で軍隊に入り戦死してしまった。戦争で危険な人物や違う国の人が出会ったらすぐ殺してしまふ。新聞では日本代表の人が死んでしまったのに悲しいだけでなく「さっさと終わらせた」だ。まだ何で戦争がおきるのか？ すぐ人を殺してしまつたら、ちがう国の人たちとも仲良くなれなないと思う、しかも自衛隊の人たちは目の前で人を殺してしまふから、すごく悲しいと思った。なぜ戦争が始まったのか、ぼくは不思議でならない。

ぼくは、殺人事件やテロなどには警察はいるけど、そもそもぼくは警察や軍隊がなぜ必要があるか。それはぼくらの命に危険があきた時に助けてくれるからだ。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/3

でもそれは争いがあるから起きること、争いがなければ
 警察も自衛隊もいない。府県のは警察がいない
 もちろん他の国と仲良くていい、その世界になること
 を多くは望んでいる。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/2

池田先生、原爆の体験のお話を聞かせてくださり、ありがとうございました。

戦争はいらない

ぼくが考える平和は、戦争がなく楽しく生活ができることです。事件など人が亡くなることのないような世界であることをぼくは願っています。これからは平和であるために国同士の対立がない世界にすればいいと思いました。

「原爆先生」である池田先生の話では、1945年8月6日、広島市に一発の原子爆弾が投下されました。この原子爆弾は広島市民のたくさんの命を奪い、命だけではなく広島市の建物まで原子爆弾を受けました。こんなことが二度とおきないように願います。

やりたいことに挑戦できても平和であるとは考えにくいと思います。ぼく



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

名前は裏面に記入してください

2/2

は、テレビで夏のオリンピックというテレビを見た。その中にある日本代表選手の最後の泳ぎがあった。それを見てこう思いました。戦争というものがないければいまでも泳ぎつづけられたかもしれないだからぼくはもう戦争なんかいらなと思います。戦争がなく楽しく安全に生活ができることをぼくは願っています。そういうことをやろうとしている人をじゃまするのではなくぼくは、応援したいです。困っている人を助けたいです。きょうなお話ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/2

池田先生、原爆のお言古、ありがとうございました。

ぼくは、この言古を聞いて、「多くの人々の命がなくなった」と聞いた時、「無関係の人の命もなくなると、とても悲しいと思いました。また、「命」には、生きているからこぞできることがあると思いました。けれど、その命をむだにしては、いけないと思いました。14万人という、人々の命がぎせいになった。ぼくは、14万人の人々を助けたいと思いました。なぜ、争いをしなければいけないか、そう思いました。この場に自分がいたら、そんなことに、命をなくしたくないと思いました。自分の「平和」というものに考えてみました。「いつも、笑顔で、楽しい生活」が自分の「平和」です。一人一人の行動力は、自分が決めることだと思えます。その体は自分の体。それは、本当にしていい行動力が、自分自身で考えたほうが、いいと思いました。



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/2

原爆先生の話で、「命」は大切にしよう
と思いました。ぼくは「家方矢との話を、笑
彦頁で、楽しい生活が「平和」だ」と思いまし
た。争いは「笑彦頁」ではなく、「苦しい彦頁」と
いう、悲しい彦頁になります。今、こうやって、生
活できるのはいろいろな人々の行動があるからだ
と思いました。今も「平和」とは、思えない
人もいると思います。「殺人」というもの、
これも争いになると思いました。ぼくは、
争っても、何もならないただ、死者を出して
しまうこわいものだと思いました。そう簡単に、
「命」を無くしてはいけなうと思います。

原爆先生の話はとても悲しい話で、
学んだことがとても分かりました。ぼくは、笑彦頁
の人々がいいと思います。とても楽しい生活
が平和だと思いました。

原爆先生の話で、多く学びました。

お話を聞かせてもらい、ありがとうございました。
この学びを次に生かしていきたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/2

池田先生、先日は原爆のお話を聞かせてくださり、ありがとうございました。

原子爆弾はいらない

ある日、日本の広島県に原子爆弾が投下された。そしてその原子爆弾は瞬時にしてたくさんの広島市民の命を奪った。

自分はこの話を聞いて戦争はいらないと思った。いや武器さえ持たないのが平和だと分かった。

原爆先生である池田先生の話しでは、1945年8月の6日、広島に1つの爆弾が投下された。その爆弾とは原子爆弾だった。それがもうおそかった。原子爆弾はたくさんの建物を傷つけ広島市民の命も希望もそして、未来さえも奪ってゆくだった。この命を奪われた広島市民もやりたいうことがあったと思うから一人一人の気持ちでできる未来になってほしい。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/2

やりたいことができないという事を考えた時に
 以前見た『幻のオリンピック』という番組を思い出した。
 その番組ではサッカーの日本代表だった
 選手がオリンピックに参加することが
 許されず、兵士になり単独争に行くということが
 言われていた。自分の自由がきかず、国に
 従わなければならぬ時代があったと
 知り、衝撃を受けた。だから自分は
 自分のやりたいことができれば平和に
 つながるのかはなにかと考えた。
 原爆が自分の国に投下されるのは
 すごく悲しいということを知ると、
 知ってもし、原子爆弾というものを
 なくすのが本当の平和だと分かった。



原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/4

池田先生、貴重なお父さんの実体馬策のお言話を聞かせてくださり、ありがとうございました。

みなさんは「戦争」についてどう思うだろうか。ぼくは絶対にはあってはいけないものだと思った。戦争は世界各地で色々な問題の原因であり、大きな被害を出しています。ですがそれは日本でも同じだ。そんな戦争をさせないために「お互いが思いやり、国同士の関係を良くすること、そして人同士が傷つけ合わず、核兵器はもちろん銃などを使わないこと」が大切だと考えた。

ぼくは原爆先生こと池田先生から、当時の広島や原爆に関する言話を聞いた。アメリカは条件をつくり、それを満たした広島に原爆を落とした。たが「これは結果であり、実際は「京都」に落とす予定だったそうだ。原爆の成果を見たかったアメリカは別の条件に建物が密集していることを挙げたからた。でも原爆は広島に落ちた。その理由が「京都の歴史的な文化財が無くなるのは人類の損失だから」というものだった。これからぼくは文化財も大切だけど、それより人の命が大切だと思った。確かに広島は歴史的建造物は



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/4

少ないけど、罪のない人々が大量住んでいる。
 自然もある。つまり核兵器は人や建物、自然を
 一瞬で奪えるものだから使。てはいけないと考えた。
 ぼくは、戦争と幻のオリンピックという番組を
 見た。これは、1940年に東京で開催される予定
 だったが、戦争のせいで延期されてしまったとの
 話だった。紹介されていた陸上の鈴木選手は
 若くして、4x100メートルリレーの日本代表だったが
 バトンミスで失格してしまった。その悔しさから、
 次の日本での大会にかけていたのだが、当時の
 日本は戦争中でオリンピックは延期された。
 目標を失ってしまった鈴木選手は自軍に入り、
 戦争にじた。そして足の速さを生かして、隊の先頭
 として、戦い、中国で戦死してしまった。
 他に紹介していた人に水泳のコーチだった松澤さんが
 いた。当時の日本は水泳が強く、松澤さんは
 監督として日本最多のメダルを持っていた。そんな
 松澤さんは、水泳を国のために使おうとする政府に対し、
 「水泳だけでなくスポーツには理念がある」と人一倍こだ



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

3/4

わりを持っていた。この松澤さんの教え子は、世界で戦えるほどにな。だが、単独時中の日本では出兵を強いられ、水泳をすることも規制された。結果的に14人の教え子が命を落とし、生きていても水泳をすることができなかつた。この状況を問題と感じた松澤さんはオリンピックの代わりとなるような言記録会を開いた。その勢が実際に次の東京オリンピックでは、組織委員会に選ばれ、開会式の入行進で各国が列を崩し歩いた「平和の入行進」を提案した。ぼくは、鈴木選手を知って今は恵まれているなと思った。どれだけ上手な人でも、スポーツをできなかったり、オリンピックを目標にしてきたのにその目標が無くなってしまうことが今はもう無いからな。それに、松澤さんの努力を知った。ぼくたちは表の東京五輪しか知らないけれど、その裏には、松澤さんのように、大きな苦痛や努力があったと思うと、オリンピックがまた違うものに見えた。

ぼくは、この2つの話を通して、昔にはこんな大変で残酷な時代があつたなと少し



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

4/4

悲しくなった。原爆は文化財だけでなく、罪のない人々の命を奪ってしまう。原爆じゃなく、戦争もしてはいけない。単独争のせいで五輪が中止され、日本を背負った人も亡くなった。それに、敵性競技と叫ばれ、規制されたスポーツは水泳の他にもサッカーなどがあった。五輪を目指していた人も、罪の無い人も、亡くなってしまった。デメリットしかない戦争は、してはいけないから、将来二度とあってはいけないと思った。そのためにお互いを思いやるのは、特に大事だと考えた。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/2

池田先生、特別な原爆のお話を聞かせてくれたこと

ありがとうございます。私は、その話を聞いて

「こんなことが平和になるか」と考え、誰もが好きな物

(食べ物)や好きなこと(しゃべり)に集中することが

どういふ人の中で一番幸せだと私は

思いました。だからこのことが平和につながると思

ました。1945年8月6日世界初の原子爆弾がアメリカ

の手によって落とされました。原爆で多くの命が失われ

ました。特に爆心直下にいる人は一瞬間で

7000℃の熱球に殺されてしまいます。「原爆先生」

の話によると7000℃の温度は、太陽と同じ

くらい熱く、固い鉄もとけてしまうほどの熱さな

です。私は、このとき「誰も幸せでもないことが

なぜおこってしまったのか、またどういう気持ちで

人が亡くなってしまったのか、一人一人の命もとても大切な

ことである。」と考えました。

誰も幸せでもないことを思っていたことがありました。

それは、戦争で選手生命を失った人々。映像

でした。その中には一選手の例が出ました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/2

昔は、サッカー選手が自由にサッカーすることも日本ではできなかった。時がありました。また選手がみすから陸軍に入った。サッカー選手、代表としてお国のために命を落とさなければならぬのです。私はそのことを聞いて自分の持っている才能をおくいのために使うなんて悲しいことしかせるはずなのに強く思いました。

だから誰もが好きな物(食べ物)好きなこと(しみ)がなくなるのが平和につながらると思いました。昔の人たちをおかいて今を生きている、おくいのために命をおとした人々、また今を生きていられた人々のために次の歴史をたてる。自分は何ができるか考えたとき自分のできないことは次々とチャレンジしようと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は表面に記入してください

1/2

池田先生 今回の貴重なお話をしてくださりありがとうございます。

そのお話から学んだことや考えたことなどを意見文にまとめました。

ぼくは、戦争があてはいけないものだと思う。皆さんも戦争が良いものと思ったことはないだろう。1945年8月6日に一発の原子爆弾が落下された話を聞いた。はっきり言うと残こくだった。アメリカが急に人々を殺した話を聞いて、ぼくは人を大切にしていないと思った。

池田先生の話の中で原爆が落ちた瞬間にして約5人に2人の割合で水蒸気のようによってせくなってしまった。ぼくは、このようなことが起きてほしくないと思ふ。起きてほしくないというところから考えたことは、みんな考え方を変えて冷静になってほしいと思う。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/2

ただ、人を大切にするからといって戦争
がなくなるわけもない。それに、自分の国
が仲のいい2つの国が自分たち中心に考え、
他の国に反発的になることだ。である
でも、自分たち中心の国に困っている人たち
のことを話すと、自分たちが悪かったと
思ってくれると思う。そういう困っている人たち
のことを知ってもらうことが平和につながる
と思った。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/3

池田先生、原爆のお話をしていただきありがとうございました。私は、原爆のこ
ろさ、悲しさを始めて知覚見文を書きました。
みなさんは、今の日本が平和で安全に暮らせると思いますが、今の日本
は争いがないしみんなが笑顔で学校に通えるのはとても平和だと
言えるからではないですか。いつもと同じ光景が流れていくのは、日本
がそれだけ平和だと言えるからです。未来の日本は、今の日本より大
きく変わってまた争いがおきればまた平和とはいきません。だから私は
「今を大切に生きる」、「一秒を大切にすること」だと私は思っています。

池田先生のお話によれば、

1945年広島に世界初の核兵器である原子爆弾が投下されました。
原子爆弾の温度は約7000度以上もあり、地面の温度は300
0度もあり、そこで原爆は人々の命を一瞬で奪い、生き残った人も全
身に火傷をおって、はい、広島の人々は家族などの大切な人に会
えず、悲しい気持ちになってしまい、争いは人々をさすつける刃物
となり、てしまいました。私はこのことをして日本では昔争いで悲し
む人はたくさんいたと分かりました。私は二度と争いをおこらな
いようにしたいです。

自分はやりたいうことかできる。私は以前総合でや。た。知。の。リ。ン。コ



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/3

ック」の学習で今と昔は平和ではなかったということを改めて知りました。好きな事ができる今だけと昔はオリンピックで活やくする選手が戦争に行かなければならぬと国からの命令が出されたのです。オリンピックの中ではこんな事が起まる昔に生まれた人はとても悲しい思いだったと思います。一生けん命練習をしてオリンピックにでられる人は今もたくさんいるのに国の命令で練習を中止されても何もできず戦争にいき、戦争死するのほかわいそうと思われ、亡くなった人達の家族はとても悲しくなると思います。今は今が平和だからいいけれど昔は悲しい事さびしい事苦しい事などたくさんあったので未来の日本は、みんなが笑顔であって大切な家族、大切な人達に平和に暮らしたら一番いいと思います。

みんなはやりたい事ができる。私は原爆先生の話を聞いてまた戦争で苦しんでいる人達はたくさんいる事を知りました。平和は長く未来へ続く可能性は少ないと思います。誰もがやりたい事に挑戦出来るのは、今の日本が平和だからだと私は思います。私はこれを未来で生きる人達に継がせるために、一人一人に出来ることは自然や人と人のつながりを大切にして



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

3/3

いき平木口を長く繋がることにて私には思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

名前は裏面に記入してください

1/2

池田先生、原爆先生の体馬食のお話を聞かせてくれたりありがたうございました。

みなさんは、人のことを大切にしていますか。僕は人のことを大切に思っています。

ほかにも人かいたいと、友達にたいして遊ぶことかいたいなり、もし自分が泣いてしまえば、なぐさめてくれる人かいたいなり、けがをさせてしまえば、自分かいたいなり多当ててやってくれる人かいたいなり、親か大人、先生かとかかいたいなりと、かいたいなりを教えるかいたいなり、

親かいたいなりなければいなくなる自分または、みんなが生まれては、このかいたいなりを大切にしなければ、人はかいたいなり自分からとあきらめていってしまう。人はかいたいなり増やしていかないと、かいたいなり自分かいたいなりを大切にしなければ、かいたいなりは、少なくてかいたいなりを大切にすれば、平素口になるとかいたいなり思っています。

これらのことから、僕は、人を大切にすることをかいたいなり人生かいたいなりの中で一番大切に考えています。

原爆先生のお話を聞いて、池田先生のお父さんかいたいなり当時助けられた人かいたいなりお話を聞いたかいたいなり、それをかいたいなり読みかいたいなり、涙かいたいなり流していることかいたいなり、かいたいなり僕の心に反響



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/2

っています。また原爆暴病というのがある、その
 原爆暴病は、戦争がはじまるとして、戦争がなければ今でも原爆暴
 病で何人も死んでしまった、死んでしまった人たちが
 がいりました。まじり戦争がなければ死ななかつたし
 い病気にもならなかつたと思ひました。ほかにテレビで
 見たのが戦争がなければ、水泳選手たちが練習
 して泳いだのが最後の泳ぎではなかつたのに、戦争
 のせいでは水泳の選手がいなくなりオリンピック出
 場の選手がなくなり、何の罪のなかつた人たちが戦争で
 死んでしまいました。それに大人がいなくなり子供
 たちの大切な命と、子供たちの大事な夢をう
 ばり、壊すのであつても生き返つたとしても結果的に子
 供たちの大事な夢はかたわらないかおしれません。
 子供たちははじめて言つたように人を大切にしています
 か。ほしくは原爆先生の言葉を聞いてより人を大切に
 しようと思ひました。このようにみんなが人を大切に
 にするこゝとによつて昔みたいに原爆をおとせば
 何の罪のなかつた人たちが死ぬことなどなくなる
 と思ひます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/3

池田先生、原爆の貴重なお話を聞かせてくださりありがとうございます。原爆のお話を聞いて、ぼくの思ったこと考えたことを意見文に書きました。ぜひ読んでください。

「平和とは何か」

ぼくは、原爆の話を聞いた後に平和とは何かと考えた。平和とは人それぞれ考え方がちがうと思うが、ぼくは、こう考える。「みんなが楽しく安全に生活できることが平和というのではないか」とぼくは思う。これを続けるためには「人が人を傷つけてはいけない」とぼくは、考える。

1945年8月6日広島に「第1」の原子爆弾が投下された。この原子爆弾の力はとても強く、広島にいた人達は一瞬で命がうばわれた。そして、奇世奇的に力かた人でも人間じゃないような体をしていったという。なぜこのようなものを投下するのかぼくには意味が分からない。落としたりその人達がかわいそう



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/3

という考えを持った方がいいと考える。そうすれば二度とこういうことが起こらないからだ。人が苦しむ原爆を一つに落とせばいいない。平和な世の中にまた一歩また一歩と近づいていけるからだ。

原爆先生の言葉を聞いたときにぼくは軍龍巻のことを思い出した。いまだくないのに軍にいかないといいけない。こうして何の罪もない人達がどんどん亡くなっていく第七号。まだ夢を追いかける時間があるのにその人の時間をうばった。この大きな時代が昔あったのです。かわいそうだと思わないで。行くか。行きたくない人を軍に行かせて命を落としたのたのだから、単女争は赤女才起るとない方がいいとぼくは考える。まだ夢を追いかけていゝ人々を亡くすのはおかしいとぼくは思った。でもみんなが楽しく完全に生活できることが平和じゃないと考える人もいるだろう。しかし今の自分達の生活を考えるとほしい。家族や友達と言語にいと楽しくなってきたり笑顔をになたりすることが一度はあ



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

3/3

るのではないだろうか。この楽しみが平和につながる
 がるのではないとぼくは考えたのだ。

このようにことから「みんなが楽しく安全に生活で
 きることが平和につながるのではない、とぼくは思う。

これを糸巻けるには、「人が人をイ傷つけてはいけな
 い」とぼくは思、た。まだ日本のように楽しく安全に
 ない人々が何人もいる。そのおんな人達のために
 金をするなどのぼく達にできることを少しづつ
 増やしていき世界で争いがなくなればいいとぼくは
 考える。これがぼくの考える平和だ。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

1/2

池田先生、原爆やお父さんの体験の話を聞かせて下さり、ありがとうございました。話を聞いて私も平和について考えました。みなさんは悲しい思いをしたことはあるだろうか、たさんの理由で悲しい思いをしたことがない人はいないだろう。しかし、広島県では、1945年原子爆弾がおとされ、約14万人もの命が一瞬間どうばわれた。原爆をうけた人々はみな、悲しいつらい思いをしただろう。私は原爆の話を聞いて、「争いのなく楽しく生活が送れること」がどれだけ幸せなのか感じた。そしてこれからが平和であるためには、「一人一人が自分の意志を持つこと」が大切だと考える。

原爆先生の話を聞いて、私は大勢の人々の命や建物が一瞬間でなくなってしまった、という話に衝撃を受けた。人が消えたときには白いけむりのようなものが上がったし、黒いかげのようなしみが出来たという、一発の原子爆弾のせいぞつみのない人々が、大勢なくなったのだ。今、楽しく生活が送れている私には想像のできないことだった。どんな理由があっても二度とおきてはならないことだと思う。おたがいにみとめ合い、だれもが争いのなく楽しく生活が送れる世界



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

2/2

になってほしいと思った。

原爆先生の話を聞いた後、私は今の世界は平和だなあ感じた。しかし、今もはんざいが消えたわけではない。後で他国では戦争の続く国があると知って、まだ苦しんだり、悲しんだりしている人々がいるということは平和とはいえないと思った。戦争の続く国では昔の日本のように自分の意志で行動をしたり、選たくをすることが出来ない人が大勢いるだろう。だが今の日本はどうだろう。例えば6月には京都でアニメーションの会社が放火され、約30人もの命がうばわれた。他にもたくさんのはんざいがおきているが、それら全てが自分たちの意志で止めることができる。私は考える、一人一人が自分の意志を持つこと。そして行動に移すことができれば平和につながるのではないかと思った。

一人一人が自分の意志を持って行動することで、この先の未来は少しずつでも、争いのなく、楽しく生活ができる世界、つまり平和になっていくことができると思う。だれかがじゃなく、自分たちで平和を作っていくのだ。私もその一人として、自分の意志を持ち行動でき、人に流されない人になりたいと思う。



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/3

池田先生、貴重なお父さんのお話を聞かせてくださり、ありがとうございました。このお話を聞いて様々なことを学び、平和であることの大切さを知りました。

1945年8月6日、広島に原子爆弾が投下され、人々から笑顔がなくなりました。アメリカとの争いが続いた日本は、平和ではなかった。平和であるためには、みんなが笑顔であり、争いがないことが大切であると改めて感じました。

池田先生からのお話で、原爆により心が溶け、全身に火傷を負った人が町をうろついていたということを知りました。さらに、たくさんの家が壊れ、住む場所もなくなった人も大勢いたそうだと。太陽より熱いものが地上600メートルの高さにはあったらと考えると、とてもおそろしい。住んでいた家がなくなってしまうのは、いままで当たり前になっていた生活もできなくなってしまう。それが、争いのためであるのだ。

争いがないければ平和であるかと言われたら、そうではないと思うかもしれない。石雀かに、争いがない世界だとしても、この広い世界には生まれつき貧しく親がいない人たちが何人かいる。そう考えると平和をとは少し考えにくいかもしれない。しかし、



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/3

争いがないければ犠牲者の数が減る。貧しく、親がいない人だて生きていけば何か素晴らしい出会いがあるかもしれない。また、希望を待つことができないかもしれない。そういう筆せがくる日がいつかやってくるのを待つことができる。争いがあるとたくさん犠牲者がでてほう。この前、テレビでやっていたニュースを例にして考えてみよう。香港でデモを行う人達とそのデモを止める警察達の争い問題となっていた。そのデモにより、何人もの死者や負傷者が出たそう。争いをして角解決するのかもしれないが争いをする、けが人や死者が出てしまうこともあるのだ。

このことから、みんなが笑顔自身であること。そのためには争いをなくすこと。それが「平和」につながると思う。この世界は今、平和ではなないかもしれない。そう思ったから、日常生活から争いをおこさないように心がけたり、笑顔自身を忘れないように意識したりする。そういう自分ができるとをやっていけば、小さな力かもしれないけれどやがて世界を平和にすることができると思う。みんなの力で世界を変えていければ、きっと世界は笑顔自身であられるようになると思う。また、身体は心以外にも世界を平和にするために、様々な国でできる取り組みだてある争いをおこさないために、核兵器を二度と作らないう争いの悪いところをよく



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/3

考えがきである。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/1

池田先生の話を聞いて、ぼくは、
 平和でいられる事について考えてみました。
 ぼくは、みんなが平和でくらせるには、
 争いや戦争がなく命をかけた人
 になくさない事が、平和だと考えました。
 1942年広島に爆弾が落とされたのです。
 火暴はつると、太陽とほぼ同じくらい6000℃が
 真上からくるので多くの人々が死んでしまっ
 た。このことから、争い、命をおとしてしま
 った。だから池田先生もいたように平和を
 作る時自分がなりたいのか、なれを原
 則のか、みんなは、考えられるでしょうか。
 ぼくが、ねがいは、みんなと仲良くなる事
 です。まず一人か一人かあって、
 一人か一人かあって、それがくりかえされて
 争いなどがなくなると考えました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

先日は、原爆についての貴重なお話、ありがとうございました。私は、原爆とは二度と起きてはならないものだという事をお話を聞いてそう思いました。原爆について意見文を書いたのでこの続きも読んでみて下さい。

広島原爆のすがた

みなさんは、平和について考えたことがあるだろうか。私は、平和とは全ての人類が戦争をしないことだと思う。私が、平和であるために考えることはまず核兵器を使わないことである、そう思った。

1945年8月6日8時15分。広島に原子爆弾が投下された。これは世界で初めての事だった。

そのせいで放射線を強く浴びた人々は、一瞬のうちに影になってしまったのだという。私は、人間といふものの生き物が一瞬にして影になってしまったという事には、おどろきとおそろしさを感じた。

先日、原爆先生として活動している池田先生から聞いた話で一番印象に残ったことがある。それは、原爆が落ちたあとの人の姿だ。人々は火傷をし、とても苦しんでいたようだ。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

まだ軽い火傷の人もある。けれど中には、皮ふがとけ体から、指やうでがとれてしまう人、骨が見えてしまう人など重い火傷の人もたくさんいた。

私は、生まれてから、一度も大ケがをしたことがない。だから、今の私には、そのケガの痛さや姿を想像できない。しかし、池田先生に見せてもらった

原爆資料館の写桌。それは、火傷で苦しむ人の姿が展示されている写真だった。私はその光景を見て、原爆のおそろしさがすごく分かった。けれど池田先生のお父さんはその資料館で「きれいすぎる...」という言葉を発表したということを知った。私はおどろいた。自分は資料館の写真を見ただけで本当の人間の姿は見ていない。けれど実際にその姿を見た池田先生のお父さんには、展示物がきれいに見えるしまったのだろうか。実際に見た、見てないでこんなに感じ方がちがうのだろうか。

私が戦争をしないことが大切だという主張には、もう一つ事実がある。私は前にある海外映画を見た。その映画のあるシーンで原爆が



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

投下されたシーンがあった。主役はれいそうこの中へギリギリのところがかくれ、無傷ですんだ。しかし、車で走っていた人は、放射線を強く浴び、一瞬で消えてしまった。私はそのころ原爆とは何なのかあまりよく分からなかった。だが、人が消えるほどの光を浴びたことは分かっており、少しおそろしかった。原爆ということを知っていたが、見ているのも、とおそろしかったと思う。

昔は戦争ばかりでとても平和とは言えなかった。しかし今は戦争もなく、毎日たくさんの方が核兵器で殺されることもなく、平和な暮らしを続けている。今の平和な暮らしをずっと続けていくには人口の協力が必要だ。この「平和」を、そして喜びを感じられる私たちは、とても幸せだ。

以上が私の意見文です。読んでいただきありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

先日は、大4小に来て原爆について説明をしてくれてありがとうございました。その説明をきいて思ったことをもとに意見文を書いたのを読んでください。

おびえる原因をなくす

みなさんは世界が「平和だ」と考えたことがあるだろうか。ぼくは平和ではないと思う。なぜなら「平和とは争いごとがなく今日死んでしまうかもしれないとおびえる人がいないこと」だと考えるからだ。だから平和であるためにそのような人たちがおびえる原因をなくすことが大切だと思う。

「原爆先生」である池田先生の話は広島に世界で初めて原爆が投下されたときの話だ。二回目の原爆が広島に投下されるといううわさを聞いて無駄だと思いながらガシキの下にかくれておびえていたそうだった。この話を聞いて世界では今も紛争や戦争、病気などにより毎日おびえてい



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

る人もいるんだろうなと考えた。そんな生活をおくっている人がこの世界にいるうちは世界が平和ではないと思う。だから、死んでしまうかもしれないおびえる原因がなくそのような人たちが安心して暮らせる世界に変わってほしいと思、た。

ぼくは今まで、死ぬと感じたことがなかった。しかし前に車に引かれかけたときに死ぬとはどんな感じなのか分かった。そのときは、自転車で駅に行こうとしていた。カーブをまがって少しスピードもあげたり軽んでしまった。そこに車が走ってきた。だが自転車がじゃまど動けず死ぬと思、た。しかし車は自転車の目の前で止まってくれ助、た。この事故のあとにこんな気持ちで毎日過ごしている人がいるということも考えるとこの世界は平和ではないと思、た。このような人たちがおびえる原因をなくせば平和な世界になると思、う。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

ぼくがこれからできることは少しでも寄付をすることだ。だから寄付をしていくようにしたい。ぼくは今後 NGO に入りおびえる原因となる地雷や不発弾を撤去するか 国境なき医師団に入り病気を治したりすることができるように取り組んでいきたい。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

1/2

先日は、授業をしていただきありがとうございました。ぼくはこの話をもとに、意見文を書きました。ぜひ読んでください。

みなさんは平和とは何かわかりますか。ぼくが考える平和は地球上の生き物が安全に楽しく苦しくない生活をおくる事だと思います。そのためにはみんなが協力をしないとできないと思います。そして、その平和を現実にするにはもうおなじにたくさんの方が死んだ戦争は絶対におきてはいけません。どうしてそう思うのかというと昔は国と国が戦争をしていました。そのなかで1945年8月6日未明アメリカ軍のB29爆撃機が広島めざしてテニアン基地を飛びました。エノラゲイと呼ばれるこの飛行機には開発されたばかりのウラン型原爆が積み込まれていました。午前8時15分に広島上空に到達し高度約9600mから原爆を投下。そして上空約600m付近で爆発その



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/2

温度は6000度にもなったといわれています。ぼくはなんでこんなひどいことが起きるのかな、これが自国だったらと考えたのがなと思いました。そしてオーフボクスターという原爆が8月9日に長崎上空で爆発しました。そのオーフボクスターには長崎をかきおとすのにイラストがかかれました。ソルトレイクを羽がいた電車がでて原爆をおとて長崎にキノコ雲ができています。イラストでした。ぼくはこれを見てイライラしました。まるで日本を実験台にしているようだったからです。ぼくはもうこんな事は、おきてほしくありません。平和はみんなのためにあり、みんながなつとして協力すればそうなります。自分人のためだけでなく、みんなのための平和を築いて平和をつつていく必要があるのです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/2

先日は、お忙しい中、大田小に来て貴重なお話を聞かせていただき、

ありがとうございました。そのお礼として、意見文を書きました。

ぜひ、読んでください。

どんなことが平和だろう

みなさんが思う平和はどんなことだろうか。僕の思う平和は、事故も

犯罪も戦争もなくみんなが安全に暮らせる社会が平和だと思う。

僕は今平和が実現した時に、真先に平和ではないと思った。

日本は戦争をしない国だ。しかし、毎日ニュースを見ていると、殺人事件・事故・

火事・地震・豪雨などのニュースで死亡者が言われる。おきてはならないニュースを毎日見る

ことになる。毎日生活していると「今日、死んだらかまわない」とずっと思っている。

原爆先生という名前が活動している池田先生から聞いた。

1945年、8月6日、広島に世界で初めて原子爆弾が投下された話を。そして、

死者は14万人、死亡率は40%。たった一発で多くの命が一瞬で消えてしまった。

中には、死ななくて済んだ人全体が血を流し、目かきを求めていた。

僕はこのことを聞いて、死ななくて血まみれになるより、死んだ方がいいと思った。

なぜなら、とても痛い思いになるなら、死んで痛い思いがなくなる方がいいと思ったからだ。

学校の授業で「戦争と平和」の勉強をした。それを見て、

兵隊の日本代表の選手はオリピックに行けず、戦争に行くことしかなくて、国から

送られることになった。自分も兵隊に行かなくて済むかな、とはできなかった。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/2

僕は正直、この時代に生まれてよかった」と思ってしまった。今の自分は
好きなことができるからだ。

そう考えると『命の身の周り』今は平和がもたらしている僕は好きなこと
ができるからだ。これから自分ができることは犯罪や事故、戦争もない生活が
実現できるように祈ることだ。僕は自分の好きなことができるというのは
小さな平和がもたらしている。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/3

先日は授業に来校いただいたありがとうございます。
ありがとうございました。

私は、原爆を投下する所は「原爆雨」
が三つあったことが一番心にのこりました。
意見文を書いたのを読んでください。

本当の幸せを考える。

みなさんは今、平和だと思いますか。
今から74年前の1945年8月6日に
広島に原子爆弾が投下された。
ぼくは会社があくのをまわっている人
がい、らんには飛ばされてかけ"になっ
てしまうという戸所が1番的印象的で
あった。なぜなら人がいなりののに
かけが出ているからです。

ぼくは平和だと思いません。

みなさんもそう思いますか。

本当の平和は戦争をしない核兵器が
ない世界と考えます

平和であるためには、葉給友達などと



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

名前は裏面に記入してください

2/3

けんかをしないでみんなと仲良くして
 争い争いけんかしても、仲なおりにして楽しく
 夜更に遊ぶというのが平和だと考えます。
 原はく先生の話聞いてとてもいいこと
 になりました。ほんとの人がすごい
 火傷をした手を前にしてあいていぼん
 かい言、けくはを前にして歩いているのは
 水かほいて、たら傷がこねに痛い
 こと、おこりたことにとてもびっくり
 しました。

そして死し年が40%。五人に二人かならなれし
 こととして、第1候補佐島 第2候補小倉
 第3候補吉島崎という3つの候補があるので
 日本を代表つくろうとしていたのだと
 思います。

原はくの授業をしたとき以前見た出づの
 オリジナルを思い出した。

当時の選手たちは、オレに、アに生をこと
 禁止されたということを知り、アをかけた



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

3/3

くわい少は戦争のために使われた。

又には空手は道人が実際に使った人もある
中(他)に「場」をと思った。

多くは「空手」の「業」を聞いて「戦争が」こわいと思
った。と聞いた。

空手があるまま、ていよくかまへた。た。物
「免」か「遊」んでいふ。な。は「何」も「罪」が

ないのに殺されるのはひどいと思ひました。

「ぼくはこれから大切にしたい。とは友達や家ごと
です。

これから日本全国が平和に差別がない
戦争がない世界が望みです。

自分にできることはできるかぎりして困っている人
がいたら助けたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/3

この間は、大4小に来てくださり、貴重なお話をありがとうございました。心に残っているのは、「きれいすぎる」という言葉が残っています。ぼくも、Lプリカを見たのですがLプリカでもこわかったです。意見文を書いたので読んでください。

人間の地球 生物の地球

「平和」とは何だろう。みなさんが平和という言葉で最初に思いつく言葉は、戦争がないということだと思ふ。しかし、戦争がなければ、平和か。ぼくは、そうは思わない。「平和」という言葉で一番大事だとぼくが考えることは、「全ての人類安全かつ、良い環境が守られている地球」ということだと、ぼくは考える。

原爆先生である池田先生の話は、広島に、原子爆弾が投下された時の話だった。原爆で広島の人口の、40%の人が亡くなった。これだけの被害があった原爆



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/3

の大きさは、ろめと少しだったそう。それより大きい原爆が落ちてたう世界は、かいつするとぼくは考える。しかも戦争をしているのは人間だけなのに、罪の多い様々な生物の命もうはわる原爆や戦争はあってはならぬ。この地球は人間の地球ではないのだ。

良い環境と平和が直接関係しているとある人がいるだろう。確かに、原爆を一つ投下しただけでは、世界の環境が保たれなくなるとは考えにくい。しかし、生物などの種というものは、似ているように全くちがう種々のだ。そして、人間の生活のおかげで生息地うばわれている所で戦争や原爆を投下させたらその種は絶滅するだろう。こんなことは、あってはならない。

今現在人間の生活のために、アマゾン



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

3/3

の森が火災になっている。この森は地球全体の20%の酸素を配出している、世界最大の森なのだ。この火事か長びけば地球全体の環境が大きく変わる可能性もある。この地球は人間だけの地球ではないのだ。そして『全ての人類が安全かつ良い環境』だ」ということを理解し、行動につなげることが平和への第一歩だ」とほくは考へる。これを書いた上でお礼を言いたいです。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/2

先日は、大田小に来てくださりありがとうございました。私にはお話をしていたくまで「原子爆弾がどんな物なのか知りませんでした。熱気を書いたの（書読んでください。「悲しい思いをしたくない」

みなさんは「平和」について考えたことはありますか。私が平和について考えたことは、「戦争や爆弾などで命を落とし、悲しい思いをするのが「世界が平和だ」と考えました。

「原爆先生」の池田先生から聞いた話は、1945年8月6日に世界で初めての原子爆弾が広島に投下された時の話でした。爆弾によって、人口約35万人中の五人に二人が亡くなったそうです。この時代に生きた人は何度も悲しい思いをしたと思いました。人々の生活がおびえる生活ではなく楽しい生活していることも平和と言えるのではないかと感じます。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/2

人々が戦争なので「悲しい思いをしないに
どが」平和とは考えにくい人々もいると思います。
確かに、悲しい思いをしないにどが直接、平和
につながるとは感じにくいです。しかし、悲しい
思いをしないことは平和だからこその「しないにど」と
思いました。

日本が戦争をしていたころ、悲しい思いをして
ばかりで、国から言われたことに従わなければ
いけない時代がありました。ヒト・モノ・カネ
が戦争のために集められていったそうです。
今の自分は、戦争で家族がいなくなったり
悲しい思いをすることがないので私は今、幸せ
だ”と思いました。でも悲しい思いをすることが当たり前
だからありました。だからこそ悲しい思いを
しないことが平和につながるのではない
か”思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこ}別授業を受講して

表

1/3

先日は 大4小に来てくださり
ありがとうございます。原爆の話
聞いて意見文を書きました。

読んでください。

みなさんは、「平和」について深く
考えたことはあるだろうか。私が平和に
ついて考えた時、最初に考えたのは「家族」
だ。私は、これからも平和であるために
「だれもが「幸せ」な暮らしができること、
だれもが「充実」した暮らしができること」
が大切だととらえる。

「原爆先生」である池田先生の話では
原爆が落されて、多くの人の命が一瞬で奪われ
火傷に苦しむ人々が大量にいたと語っていた。
それを聞いて最初に思ったのは「けが」だ。
公園などで転んだことはあるだろうか。
また転んでいる人を見たことはあるだろうか。
これらのけがはたいしたものではないと
感じた。理由は原爆の話を知ったからだ。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/3

原爆の方が何百倍、何千倍 いやも。と
いたくておそろしいだろう。

原爆で多くの人の「命」が奪れた。

これは「幸せ」や「充実した暮らし」とはま、たく
言えはいと思ふ。

やりたいことができても「平和」であると
考えにくくなる人もいるだろう。確かに
やりたいことと平和は直接線 で結ぶと
思うと考えることは難しいことだろう。

だが平和だからこそやりたいことができる
のだと思ふ。もし、今平和ではなかったら
自分のやりたいことはなにもかもできなく
なるだろう。

日本が戦争していた時、自分の意志で
決めることができなかった。これは「幸せ」
や「充実した暮らし」とは言えない。ヒト・モノ
カネが戦争のために集められたそう。

今の自分はやりたいことができる。

自分の意志で決めることができる。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

名前は裏面に記入してください

3/3

これは「幸せ」や「充実した暮らし」
だと思ふ。でもこれが当り前ではなかった
時代があったのだ。自分のやりたいことが
選たくできる。「幸せ」や「充実した暮らし」、
これらができることは平和につながると
私は思つた。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/3

この前は、おしそかしい仲きていただき、
ありがとうございりました。原子爆弾のひがい
にあつて死んでしまつた人が14万人にもなつた
ことにとつてもおどろきました。池田先生の特別
授業をうけて、意見文を書いたのひせひ読ん
でください。

今の平和

金鉄かどける温度のところに自分かいつたらと、
考へてみてください。そのときそこは3000℃です。
ゾツとしませんか。その温度は、原子爆弾でひ
かいつた人、死んでしまつた人にしか分からな
いと思ひます。今、犯罪をおかしてゐる人は、多
くいます。わたしは、今が「平和」になるため
に、この人生を勝手に終わらせて、許されること
はなひぞと考へてゐます。

原爆先生の池田先生の話しでは、原子
爆弾のひがいにあつた人たちは、人かどうかひか



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこウ

表

名前は裏面に記入してください

2/3

からないくらい、皮ふがホロホロになっていて
そうです。また、爆心地では、人の水分が蒸
発し、衝撃波で後かたもなく、命が消えました。
わたしは、自分の体の皮ふがホロホロになって
いたら、痛らしてはすまないと思います。また、死
んでしまった人たちは、またやりた^いことがあったと
思います。なのに、勝手に人生を終わらせられてし
まいました。わたしだったらとても悲しいです。
広島市の人口は、35万人でした。しかし、原子爆
弾のせいで、死者数14万人、死亡率40%、5人に
2人が死んでしまいました。その死んでしまった人
たちには、家族がいたと思います。しかし、原子爆弾
が投下されたせいで、その家族に会えなくなっ
てしまいました。わたしがとつせいに、その家族に
会えなくなってしまうたらとてもたえきれないくらい
悲しいです。人生を勝手に終わらせられて、けな
り家族に会えなくなる人が出るのは、もうあって
はならないと思います。

くの人生を勝手に終わらせてはならないとこそ



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/3

これは許されることではないし、その人の家族のつらさは、犯罪をおかした人には分からないと思います。犯罪がなくなることによって「平和」にながるのではないかな、と思います。昔の人からすると、今は「平和」なのではないかな、と思います。その「平和」は、今の人にとっては「平和」ではないかもしれません。犯罪をおかし、人が人を殺してしまったりしているからです。だから、昔の人からした「平和」を、今の人からした「平和」にできるように「犯罪のない未来」をつめていきたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/2

こんにちは。先日は大田小に来て戦争について教えてくださってありがとうございました。池田先生に教えてもらったことを意見文にしたのでぜひ読んでください。

「平和について深く」

『平和』みなさんは平和について考えたことはあるだろうか。私は平和について考えたときにみんな兵器を持たないでみんな笑顔でいっはいいというのが私は平和だと思う。原子はくたんは人がいっしゅんでいなくなってしまうほどおそろしい物なので私は二度と原子はくたんをつかってはならないと考えた。

「原はく先生」である池田先生の話は広島に落とされた「原子はくたん」についてだった。地上600メートルでばくはつしたげんばくは、人々をいっしゅんで消してしまいもはや人ではない人が大勢いたそうだった。この時代を生きた人たちは笑顔でいっはいいだっただろうか。それはちがうと思う。食べ物もおなかい



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/2

はい食べれず家族が死んでしまった人いる。
それをなくすためにはこれからもげんばくを
つたてはならないと考えた。兵器をもつて
なくても笑彦貞といはいでも平和とは
考えにくい人いるだろう。だが、兵器
をもたないとは戦争がないということ
なので笑彦貞がうはわれるおそれ
もないと私4は考えた。

日本が戦争をしていたころ兵器は
あたりまえのようにもっていたけれど
もうちがう。平和をつくるためには
これからも『平和』ということ
を意^いし^しま^まして生活^{くわん}すること
が私4の思う平和につながるの
ではないかと考える。なので
これからそれをわすれず生活して
いきたい。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/2

池田先生、大泉第四小学校六年生です。この前は、特別授業をしていただき、ありがとうございます。ぼくも意見文を書きました。題名は「本当の平和とは、です。ぜひ読んでください。

みなさんは、「本当の平和」について考えたことはあるだろうか。ぼくは今までだと考えるが、1945年原子爆弾が落ちたのだ。14万^人の人々が亡くなってしまったのだ。ぼくは、「原子爆弾のような、おそろしいものは二度つくらねてはいけません」と考える。

「原爆先生である池田先生は広島に落ちた、原子爆弾について言っていた。1945年8月6日。たった一つの原子爆弾で14万人の人々が亡くなり、生き残



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/3

ったとしても、火傷に苦しむ人々もいた。原子爆弾は外周7000度、600m先では3000度になってしまうのだ。だからこそ、原子爆弾で自分が死なないようにしたいし、人々を死なせたくないのだ。

戦争をしている中でスポーツにもいきょうが出ていることをぼくは知った。昔、日本のオリンピックの選手も軍隊に入っていた。未来のオリンピック選手がどんどん戦争死していった。さらに、戦争のためにスポーツを訓練索にしていたのだ。ぼくはそんなことがあっていいと思わない。このように戦争で死んでしまったり原子爆弾で死んではいらないと思う。

誰もが日本が平和であってほしいと思うし、戦争が变い世界がいいと



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/3

思ったことはあるだろう。しかし、昔の日本は「平和」でもなく戦争もあつたんだ。広島の人々は、原子爆弾で14万人も亡くなってしまった。このように戦争で何十人も亡くなるのは外資はあたりまえだった。だからこそ、戦争がなくなり人が死ななければ平和になるか。知るのではないだろうか。

どうですか。これがぼくの作った文です。伊田先生、特別授業をしてくださりありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/2

先日は、貴重なお話を聞かせてくださりありがとうございました。原爆の恐ろしさを改めて実感しました。このお話を通して意見文を書きました。読んでください。

私は、個人の欲望のために争うということは、平和で遠くはなれていくと思う。自分たちのために他人を巻きこんでいくのはどう思うのだろうか。欲望の戦いというのは、自分なりの戦争の言いかただ。戦争は「土地」という物に対する欲望の戦いである。争いに他人を巻きこむことは必ず正しい方向には行かないはずだ。

「原爆先生」として知られる池田先生のお話は、広島
の原爆被害のお話だった。一瞬で数万人の命を
奪った原子爆弾はとても恐ろしい物だと改めて実
感するようになった。アメリカは原爆のいかに恐ろしい
かをいかに落としていたそうだった。これは、原爆のいかに
楽しんでいるという気持ちの表れである人々を巻き
こみ、苦しませる気持ちではじうなのだろうか。楽しん
でいるというのは絶対におかしい。争いを楽しめ原
爆の実験のために、敵国に落とす。この習性は
強さではないと思う。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/2

欲望に対する争いがなくなるとしてむしろ、反か
しなごたに対する襲撃などの争いは残りがける。
だから本当の平和への道のりはまたほて遠いと思う
気持ちはいく分かる。しかし「戦う」という概念を
欲望の争いで「物」から取り除いていけば、社会が
争いは消えるのではないか。また、現代の社会におい
て行へてはならない重要視されてきた「戦争」は
欲望の戦いだ。原爆を落とした戦争なくすこ
うのは、社会も欲望の戦いをなくそうとしているの
ではないだろうか。

現在の日本では欲望のために戦う戦争は起
きていない。しかし、世界で見るとまだ多く起きている。
戦争とは、とてもおろかである。前にも述べたように
他にも多くの理由で争いがあふ。だが、何か一つを
取り除くことで「争い」という考えはなくなっていくの
ではないか。その一つとして欲望の争いという
物を奪げてきた。これをなくしていくことは、
平和への第一歩になるのではないだろうか。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこ}別授業を受講して

表

1/2

この前は原爆のことについていろいろ教えてくださってありがとうございます。原爆のことについていろいろ知れました。意見文を書いたので読んでください。

[平和とは何だろうか?]

みなさんは「平和」について考えたことがあるだろうか。ぼくが平和について考えた考えた時に「戦争」が思い浮かんだ。ぼくはこれからが平和であるために、「すべての国が核兵器がない国、核兵器をもたない国」になれば戦争もおこらないとぼくは考える。

この前「原爆先生」である池田先生に1945年八月六日、広島に原子爆弾が投下された話を聞いた。1しゅんで多くの命がうはわれ苦しむ人もたくさんいたそうた。ぼくが話を聞いておどろいた話が2つある。それは、被爆者が24万人、死者が14万人という話だ。被爆者と死者が多くてすごくおどろいた。二つ目のおどろいたことは、原子爆弾の音速よりも衝撃波の方が速いということだ。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/2

音速よりも衝撃波の方が速いと知っておどろいた。これらのことで戦争がおこるとこわい気持ちになることをあらためて知った。

ぼくは、戦争について考えた時に「戦争とオズのオゾンホール」という番組を思い出した。この番組ではいろいろな選手がオゾンホールに行くことが許されず、いやでも戦争に行かなければならなかった。国から言われたことに従わなくてはならなかったこと、自分がやりたいことをできないことにぼくはしょうげきを受けた。戦争をやっていた時代の人々は苦しむ人がたくさんいたと思う。けれど今は戦争がないので平和だとぼくは思う。

『すべての国が核兵器をもたない国、核兵器をもたない国』になれば平和につながると思う。戦争の時代の人たちは好きなことができないけれど今はできる。だからぼくは今、好きなことを生けん命組みたい。またかえらうとしている人を応援してあげようと思う。

これがぼくの意見文です。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/3

池田先生、お久しぶりです。先日はきょうな
お話を聞かせてくださりありがとうございました。
今回は、先生のお話を聞いて考え
たことを意見文にまとめました。

あなたは、「平和」について考えたことが
ありますか。世の中を平和にするためには、
どうすればいいか。そのためにはまず「争いを
なくすこと」が平和への第1歩だと思ひ
ます。なせなら、だれかの身勝手な争いが、
周りにいる無関係な人たちまでもを傷つけて
しまい、そのせいで命をうばわれてしまう人も
いるからです。

原爆先生である池田先生からのお話では、
1945年八月六日に広島に原子爆弾が
落とされたことを聞きました。たった1つの
爆弾で十四万人もの広島市民の人々の
命がうばわれてしまったことわかりました。
政治を行う大人たちの間で意見が
くい違い、戦争が起きてしまったことは



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/3

しかたがなかったのかもしれませんが、しかし、それで政治戦争とも全く関係の無い人が死んでしまいました。池田先生のお言葉を聞いて、争いはときに無関係な人も巻き込んでしまわりました。そういう形の争いがある限り世界は平穏にはならないのだともわかり、争いをなくすことが必要だと思いました。しかし、争うことでなにか問題を解決できるようにするために、争いというものは必要なのではないか。そう思う人もいます。でも、争いの中には、自分の事しか考えていない人たちのものもあり、ぼくがきれいになくなってほしいと思っているものです。争いにも、良い物と悪い物があります。その悪い物だけさが早くなくなればいいと思いました。

この世の中から身勝手な悪い争いをなくす。これこそが平穏への第一歩です。しかし、先ほど紹介した良い争いとは、正しいものが



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

3/3

悪いものを正すためのものです。これは、だれかを傷つけるのではなく、だれかを守り笑顔にできるものだと思います。このような争いはあったとしてもいいのではないかとばかりは思いました。ほくは、これからの生活で悪い争いを起こさないためにも、周りのことを常に考え、行動できるようにしたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/2

大泉第四小学校に来て戦争の話をしていただき、
ありがとうございます。戦争の話聞いて意見文を
書きました。読んでみてください。

「平和」とはなんだろう。私が平和について考えたとき
に、戦争がなく、好きなことができていることが思っ
てひまになった。私は、この世界が平和であるために、
『戦争が全世界からなくなり、全ての人類が安全で
楽しくらせること』が大切だと考えました。

原爆先生である池田先生の授業のところでなが
れた原子爆弾が爆発したときの映像を見て、少し前
まで目の前でまわっていた人が灰になってとばされてい
た場面があり、いっしょのことで何が起きたかわ
からずに困わくしただろうなと思いました。戦争が
あったときだけでなく、原子爆弾が爆発したときに
出た放射線をまびで原爆しょうになり、今も苦しんでいる
人がたくさんいると知って、原爆しょうになった人を楽にしてあ
げられるように、このような人が二度と出さないように、なっ
てほしいと思いました。このようなことから、いっしょのうち
に人が何万人も亡くなって、長く苦しむ人が出るような原子



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/2

爆弾はあてはいけないと思いました。

好きなこともしたりごはんを毎日食べたりテレビを見たりゲームで遊んだりすること。このようなことを今は当たり前のようにできている人がたくさんいます。しかし、戦争中は今は当たり前のようにできていることができていませんでした。このことを知って、私は今は当たり前だと思っていること、それは本当は幸せなことなのではないかと思いました。そして、戦争におひえながら暮らすような毎日ではなく、友達や家族と遊んだりできるような毎日がいいなと思いました。また、戦争がおきていたときと同じようなことがおきないようにしたいなと思いました。

私は、全ての人類が平和で楽しく暮らせることや、戦争がこの世界をおきていないという状態がずっと続いていくことが「平和」につながると思います。私は今戦争がないこと、ごはんをおなかいっぱい食べられて、好きなことを自由にできるということを、当たり前だと思わずに、感謝していただきたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

1/2

先日は、大回小に行き、さなうなお話をしてくださりありがとうございました。その話を聞いて意見文を書きました。「平和とはなんだろう」

みなさんは「平和」という言葉を聞いて大事だと思ってるは何だろうか。ほくは「人と人が手をとり合い仲よくすること」「瞬でたくさんの命をうばった原子爆弾をなくす、つかれないこと」が「平和」だと思ふ。

一九四五年、八月六日、広島におとされた原子爆弾。その死者は十四万人までのほした。これは、広島の人口の約三分の一の原子爆弾での死亡率は四十パーセントこれは五人に二人が「死んでしまう」ということだ。こんなひどい被害を生んだ原子爆弾はあつてはならないと思ふ。

平和を言ふ時は戦争を言ふ時の日本は戦氣をいない。だから平和だ。だが日本だけが平和であつてもためなのだ。実際、他の国



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

2/2

では戦争が継続している。だから全体的に見ると「平和」ではないのだ。だから全ての人類が「安全な社会でない」と「平和」ではないと思う。

やはり、世界全ての国が戦争を止めない限り「平和」ではないと思う。自分は安全な暮らしができて喜ぶたほえ「だ」と思ってた。だが「喜ばなかったのだ。だから「あたりまえ」なことでも大切にしなければならないと思う。また平和な人類になるには、国と国が手をとり合い仲よくすることが平和になる「第一歩」だと思う。

これが「ほく」の平和についての意見文です。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/2

先日は、貴重な体験をさせていただきました。
ありがとうございました。ほくは原爆先生
のお話と聞いて意見文をかいたので

読んでみてください。

平和とは

みなさんは、「平和」について考えたことは
あるだろうか。

ほくが、平和について考えたときに、
人と人が争いもしない安全なくらしか
思いうかんだ。

安全なくらしかできるため、人と人が助け
あい、おたがいにほめあって争いのない世界
が重要だと思う。

「原爆先生とある世田先生の話を聞いた。

それは初めて耳下さ水、原爆の話。

熱気集と人がい、しゃんで人が黒い炭のかたまりにな、たよ

うに見えた、その黒い炭は、衝撃波でふきとばされ、

黒いあとが残ったようた、原爆の死亡者は十四万人。

生き残った人でも、やけどをきて苦しんでいた人もいたそうた。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

1/2

今では、戦争や争いはないけれど昔は戦争や争い
があった。そのため安全な暮らしができなかった。

この先、原爆など絶対にあってはならないと思つた。

戦争や争いがなくても平和だとは考えにくく人
がいるだろう。争いがないと負しい
生活をしている人や食や物に困る人がいることに変わり
はないかもしれない。しかし、戦争がないことによ
り、自分の身の安全が守れやすくなる。

今平和で安全な暮らしができていてるからこそ、
ボランティア活動、募金などかてきると思う。

日本が戦争していたころ、今とはちがって毎日の生活
でもおこえる毎日だったと思う。戦争に行つた人も
行つてない人も心のなかでははやく糸冬かしまるよう
にといのつていた人いると思う。でも、ぼくたちは戦争が
ない平和で安全な暮らしができていてる。ぼくはこれから
戦争のない安全な暮らしができていてることを大切に
思い生きていこうと思う。

読んでいただきありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/2

このお礼は、原爆の怖さなどをおしえていただき、ありがとうございます。ごさ"いました。原爆先生の授業をうけて、意見文を書いたの"で、読んでください。

「平和」とは、どうい"うことが、考えたこと"はありますか。私は、戦争などの武力を使う身"いかなければ「平和」だ"と思います。戦争などで、多くの命"がなくなってしまう。た"ら、そもそもみんなで「平和」にできないと思"うからです。そのため"には、人人が戦争をおこ"さないように、努力して"いかないと、私は思"います。

「原爆先生」である池田先生の語"は、広島市に原爆が落"こされる前、も"とんど、35万人の"人がいたのに、原爆"が落されたときの死"亡者は14万人、"広島市の人口の5"人に2人がなくな"ってしまう。た"らしいです、1回の原爆のせ"いでなくなっ"てしまった人"は、後の「平和」"な社会を生"きるこ"とができます。そのこ"とは、「平和」と"はいえない"と私は思"います。要するに、戦争"がない社会を、「平和」と"いえるの"ではないのでし"ょうか。

死んでしま"った人は、生"きかえられない"から、しかた"がないと言"う人がいるか"もしれません。戦争"のせいで死んで"しまった人。その"人たちは、本当"は戦争がな"かったら死な"なかった人た"ちです。戦争が"あ"って、死んでしま"うこ"とから、戦争"がある時"点では、「平和」と"はいえ



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/2

ない。戦争などの身いがかければ「平和」といえるんだ」と私は
 思います。そのために、太平洋戦争などの戦争を二度とおこ
 さないように気をつけたいと思います。

この1回の戦争、原爆のせいで、多くの人々がなくなってい
 ます。私は、この怖い原爆や戦争がなくなることを「平和」
 だと思っています。「平和」にするには、戦争をなくそうと願う
 気持ちが大切なんだと思います。そして、今は「平和」です。なので
 私たちはこの今の「平和」を続けていかなくてはならないと思いまし
 た。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は表面に記入してください

1/2

こんにちは。死生書いの中 大田小にきていただき
ありがとうございます。私達も先生は池田先生が書いた
ことについて、意見文にまとめました。ぜひ読んでみて
ください。

みなさんの平和について考えたことは、あります。

私はみんなが安全に楽しく暮らせることが平和だと思
います。これから平和であるために一人一人を大切に
して行くことが大切だと思っています

1945年8月6日広島で初めての原子爆弾が
投下された。私かきいたことは、広島に投下された
原子爆弾によって、十四万人の人が亡くなったこと
です。私は十四万人の人が亡くなってしまった
あの爆弾はもう落とすにはいけないと思
いました。私は、これから、楽しく安全で
暮らせることが平和だと思っています。
みんな楽しく安全で暮らせることを思い出して、
そでにいた人は、かわいそうだと思っ
た。友達や命を大事に、大切にしてい
た人を笑った。あの爆弾というものの



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/2

は、おそろしいということも思っ
ています。

私はできるだけ安全で楽しく、そして
みんなの協力が必要だと思っ
ています。

これは私の意見文です。
先生は私の意見文を読んでどう思っ
たかが。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/1

ぼくは、原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受けて「平和」について、意見文を書きました。ぼくは、『技術が進んでいる日本は平和だ』と思います。なぜなら技術が進んでいることがかんきょうをよくしていると思います。住みやすい国は、いい国だ』とぼくは、考えます。なんでぼくは、技術が進んでいると平和と考える理由は、最近いろいろなニュースがのっている、本を買って読んでいて、その本に『技術が進んでいる日本は、平和だ』と書いてあったし、2030には、子どもが夢みる、空と水が作れるとも書いてあったから、技術が進んでいる、日本は、平和だ』と思います。ぼくの考えでは、平和と技術は、つながっていると思います。二本からも技術が進んで住みやすい国になしてほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/2

先日、大田小に来てくださりありがとうございました。
今まで原爆のことをあまり知らなかったけれど、お話を
していただいて知ることができました。「原爆・平和」
のことについて意見文を書いたので、読んでください。
「平和」とは何だろう。私は、全てが安全で楽しい
ことだと思う。これを実現させるには、みんなの協力が
必要だ。これは、私の考える平和以外も同じことだ。
平和というのは「たくさんの人が協力」をしてみんなでつくる
大きな目標のようなものだと思った。

「原爆先生」の池田さんに熱線と衝撃波によって
人がいっしょんで消えたというのを聞いた。人が熱で炭となり、
その炭が衝撃波で飛んでしまったそう。私はこれを聞いた
ことがすごく印象に残った。一番こわいと思った。今私は
安全で楽しい暮らしをしている。それがいっしょんで骨もなく消えて
しまう。こわい、おそろしい、おどろき、そんな気持ちはある
けれど、それを想像することすらできない。これをふせぐ
ためには、国と国通しの協力が必要だ。たのではないか。
協力をしていれば、平和に近づいていけたらと思った。

協力が安全につながる時もあれば、危険につながる



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/2

ときがある。と考える人もいなくはないだろう。でも、それは協力とは私は思わない。協力の「協」という漢字には、たくさんの人と力を合わせる。という意味がある。これが危険につながる時は、だれかが協力をしようとしていないからだと思う。なので協力はさけ人につながらないと思う。協力は、楽しいことや安全につながると思う。

『たくさんの人が協力をすること』やはりこれが平和への第一歩だと思う。これはふだんの日常生活から始まることだ。二度と同じことがまじこつないよう小さなことからやしていくこと。これが今の私達にできることだと思う。私は目標「平和」に向かって、たくさんの協力をしたい。

これが私の意見文です。読んでくださり、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1/2

先日は、原爆のお話をしていたいただきありがとうございます。ありがとうございました。ぼくは、またくじなさいこととして、さらにそのことについてくわしくしれてうれしかったです。

ぼくの意見文をよんでください。

みなさんは「平和について考えた」とかあるのかな。ぼくは『みんなが笑顔でいられる』ことが大切だと考える。9月6日原爆先生という先生からお話かきた。その原爆先生の父が戦争をおえなかい日新聞かた、にある日原爆先生の父に手紙がとどいた。その手紙は、原爆先生の父が原爆のひがいをうけて大けがをした人を助けたとき、ひがいの者がからだった。その人を助けたときは、いたくて、手当てするときになみてもでなないそれ以上のいたみだった。そんな人たちがたくさんいるなかで、ぼくは、高橋一人と笑顔になれないと思つた。さらに原爆を落とすには、3つの条件があったらしい。しかも原爆を落とす候補になった都市があった。ぼくは、これを知って原爆はそんなことかあるも落としてはいけないのに、そんなことかあったとして、してはいけないことか条件は候補などいらないと思つた。どこに落とされたとしてもそこにいた人々の命は



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/2

いっしょでなくなつた。

広島に原爆が落とされたことを知って笑顔になれる人はいない。
原爆のむかしを思い出して笑顔になれる人は、いない。

戦争を止し笑顔にしたいと思ふ。だから戦争を止めれば
笑顔になれる人が出来るのではなかつたかと思ふ。
おぼろしきでみんなが笑顔になつて平和になつてくれると
思つた。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/3

この前は、大四小で授業をしていたとき
ありがとうございました。話を聞いて意見
を書きました。

『平和』これはなれもが願うこと。私も
『平和』を願っている。みなさんは『平和』とい
うのは、どのようなものだ”と考えているだ
ろうが。私は全ての人類・生き物が安全
であることが『平和』であると考えている。

原爆先生である池田先生の話で、
「エノラ・ケイ」という爆撃機で原爆の
「リトルボイ」をおとしたと言っていた。こ
の原爆が広島のおとされると決まった瞬
間から、人類や生き物は安全ではなくなっ
てきた”。これで十四万人の方が亡くなり、
その中の二万人はあとかたもなかったそ
うだ。また、原爆により電線が炭になり
その後の衝撃波によりくた”かれて消
えた”という話も聞いた。この時代
に生きていた人は戦争の中だ”たので、



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/3

ずっと安全であってほしいと願っていたかもしれません。

私が思う『平和』は、全ての人類・生き物が安全であることだが、これが『平和』のあると考えは、"人もいるだ"らう。確かに、自然災害などで被害がおこり安全ではなくなる。けれど、自然災害などでおこる被害があるからこそ、人類は研究して、って地震に強い家や強風に強い電柱などをつくらうとするのではなか。地震があったとき、家などが壊れたりしてしまう所もある。このようなことがあったからこそ、地震に強い家があると思う。

私は、全ての人類・生き物が安全であることが『平和』だと思っている。昔は戦争などで人類・生き物が危険になっていた。けれど今は自然災害などもあるが、安全に過ごすことができている。



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

3/3

私は、今安全に過かすことができることを
喜ぶのだと思いが、ありがたいと思
いながら過かしてしまったりと思う。
これが、私の考えたものです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1/2

池田先生は昨日はお話を聞かせてくれて
 ありがとうございます。ぼくは
 池田先生が言われたことも、資料に
 まとめました。読んでください。
 いま平和だと思いませんか。
 ぼくは今平和だと思いきや、
 どうしてかといったら、
 まだ戦争をしている国があって
 そこでは何十万人も亡くなってしまっ
 たことがあるのです。
 ぼくが思う平和は、兵器がなく、
 戦争のない世界がぼくの平和です。
 原子爆弾一つで広島の人口
 約六十七パーセントが被爆して
 四十七パーセントが死んだそうです。
 そんな原子爆弾を信じては
 いけないことがわかりました。
 原爆先生の話を聞いて
 おどろいたことがありました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/2

それは上空に七千度の熱が
真上にある。そして
人がその七千度の熱にあたり
いっぺんに灰になったことが
おどろきました。

ぼくは原爆先生の話を聞いて
ぜったいに戦争を起すことは
いけないこと、原子爆弾を
使うはいけないことを実感しました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

1/2

この前は、ありがとうございました。
原子ばくだんの話を聞いてと、とても小布
か、たです。なので意見文を書きよした。
読んでください。

みなさんは「原子ばくだん」につい
て考えた事はあるだろうか。私は池田
先生の話を聞いて原子ばくだんはとても
おそろしいと思った。だからこそ戦争をく
り返しては、いけないと思った。

広島に原子ばくだんが投下された時た
くさんの人たちが命を落とした。なぜここま
でたくさんの人々がぎせいにな、てまで戦争
をしたのか。未来ある小さな子どもの命をう
ばった戦争をせ、たいにしていけないと思
う。

なぜ戦争をしたのか。私は、今でもふし
ぎだ。戦争を止める事はできな、たのかと今
でも思う。いくら理由があろうと人をぎせいに
してかいつしようなんてせ、たいにだめだ



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/2

と思,た。

「戦争」をわすれては、いけない…。木4は
あらためてそう思,た。戦争で苦しんだ人。
がいるからこそ今の日本は平和なのかとし
れない。「戦争」のこと「原子ばくだん」のこ
とをずとわすれないで「戦争」がない平和
な世界をつくらせていきたいと思,た。